まちづくり懇話会

令和６年度まちづくり懇話会

＜次第＞

１　開　会

２　区長あいさつ

３　町長あいさつ

４　テーマ説明

＊まちづくりへの取組み

５　事前質問回答

６　意見交換

７　閉　会

配布資料

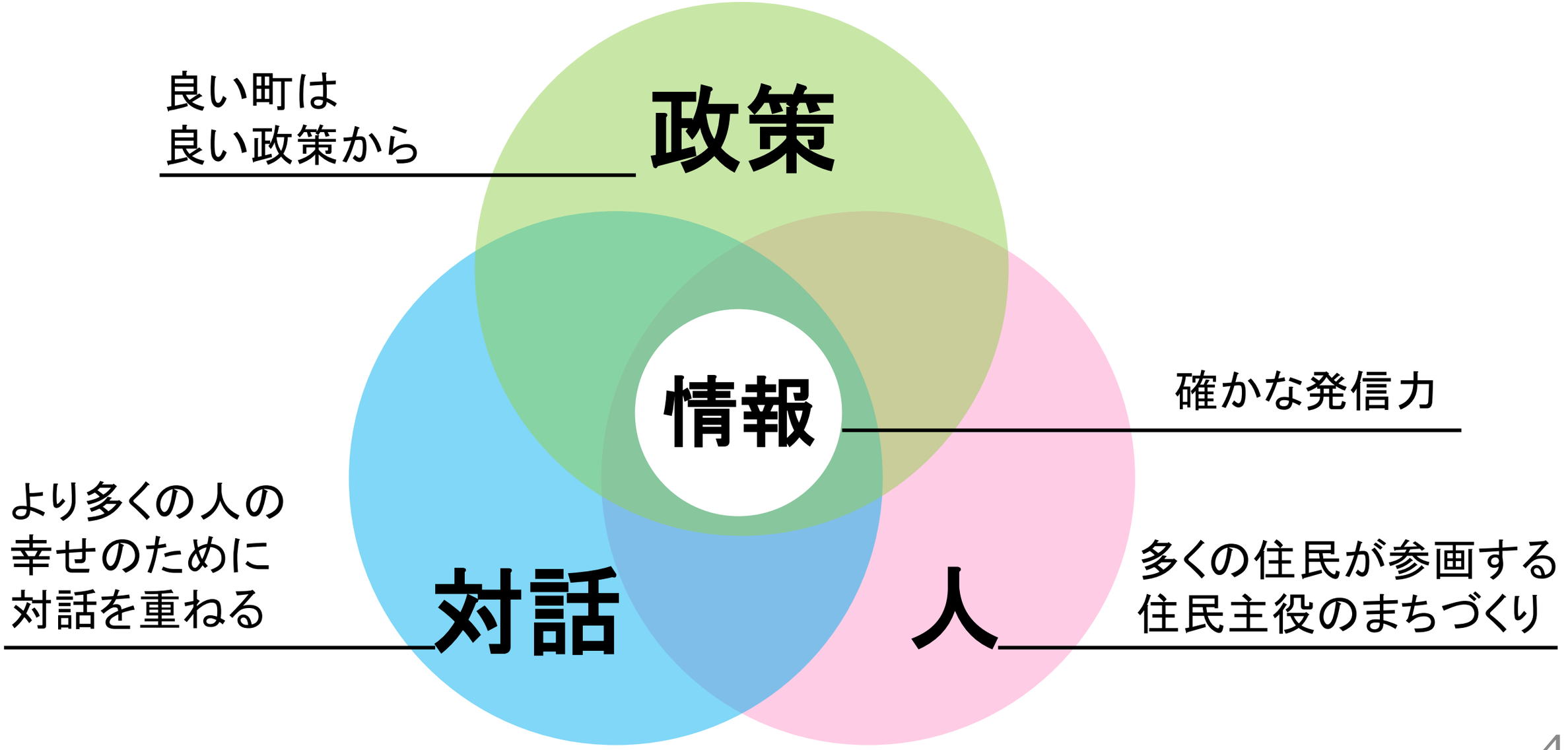
＊アンケート用紙

本日の説明

総合計画	総合計画
重点プロジェクト	「みよしフォレストシティ構想」プロジェクト
	子どもの幸せプロジェクト
	誰一人取り残さない元気応援プロジェクト
	行財政基盤強化プロジェクト
みんなとつながる共生のまち	みよしWell-beingのまちづくり宣言
	手話言語条例
	あいサポ10周年
	デフリンピック
誰もが自分らしく生きるまち	国際交流・国際理解教育の推進
	新たな教育大綱
	MOVEプランの策定
	小山町との連携協力による富士登山
	学校トイレ・空調整備等の整備
	三芳町立小中学校適正規模適正配置
健康で元気な笑顔があふれるまち	こどもの権利条例
	子どもにやさしいまちづくり
	こども家庭センターの設置
	こども医療費・児童手当の対象拡大
	フレイル予防・フレイルサポーター

安心して便利に暮らせるまち	公共交通
	ライフバスの再編
	町内循環ワゴン
	シェアサイクルの導入
	都市計画道路の整備
	書かない窓口
	字幕表示システム
	図書館貸し出しシステム
	藤久保地域拠点施設
	スマートICフル化
	竹間沢通西地区の新たな産業用地の創出
豊かで持続可能な産業があるまち	地域活性化交流拠点
	世界農業遺産・ガーデンツーリズム
緑と文化のなかでこころ豊かに暮らせるまち	平地林の整備
	誰もが芸術文化にふれられる芸術祭の開催
	みらいくんの雫
その他	定額減税・調整給付

■まちづくりの方程式


良い町は
良い政策から
政策
情報
確かな発信力
より多くの人の
幸せのために
対話を重ねる
対話
人
多くの住民が参画する
住民主役のまちづくり

■総合計画

◆三芳町をどのような“まち”にしていくのかをまとめた計画

◆町で策定している様々な計画の“基本”となる計画

- まちづくりの**道しるべ**

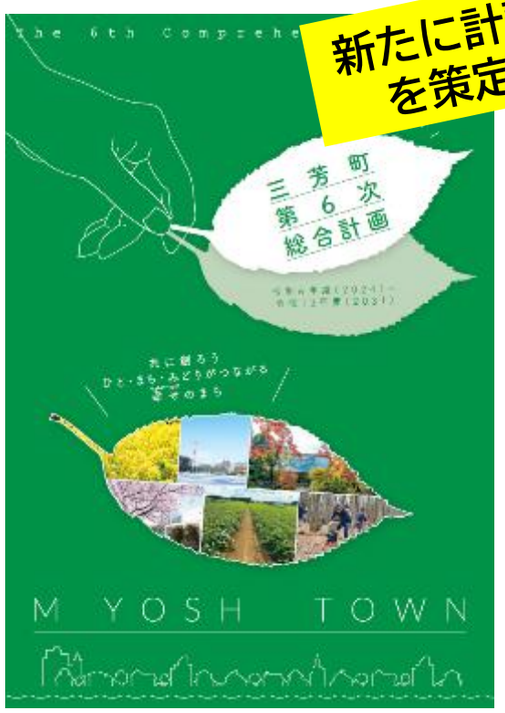
三芳町の描く未来と計画

町の最上位計画 ▶ まちづくりの道しるべ

第6次総合計画

8年間の計画

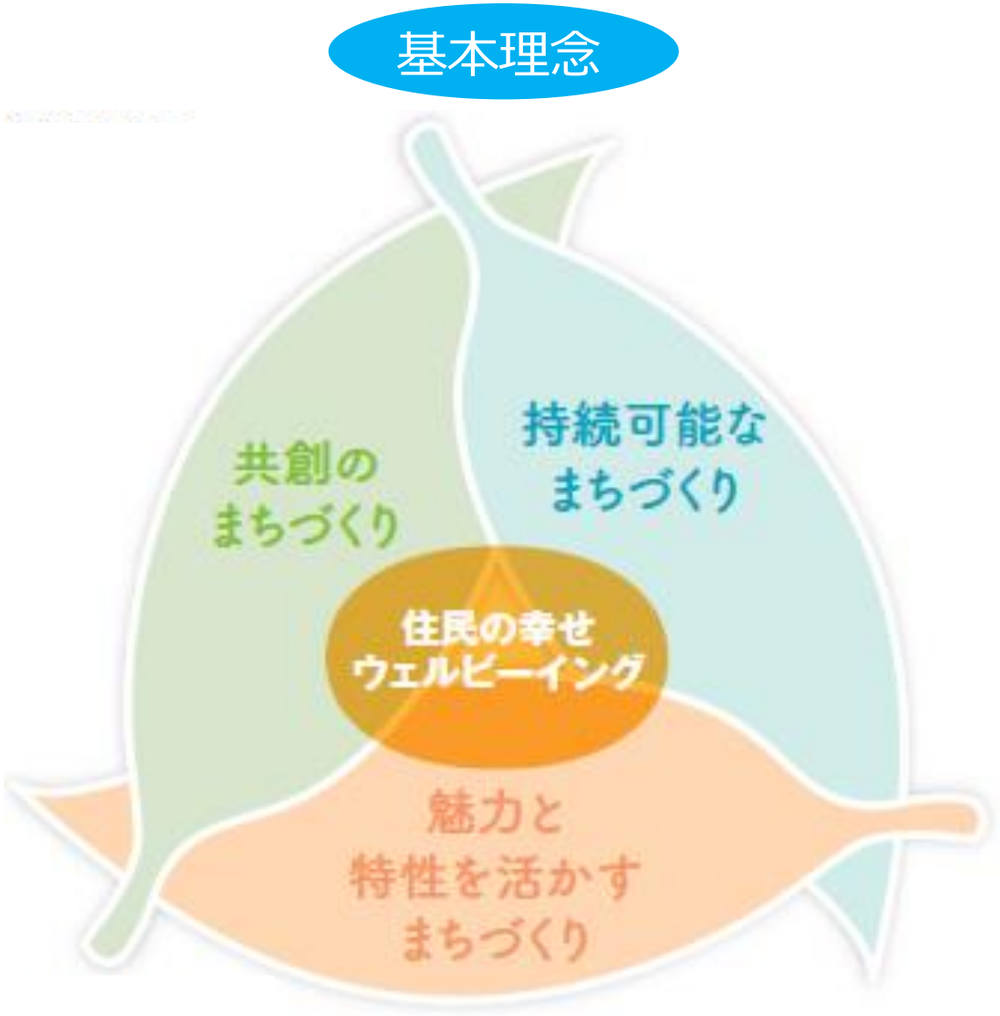
令和6年～令和13年



将来像

共に創ろう
ひと・まち・みどりが
つながる
ウェルビーイング
幸せのまち

三芳町の描く未来と計画



ウェルビーイング

世界保健機構（WHO）憲章で提唱された概念
身体的、精神的、そして社会的に良好ですべてが満たされた状態

物質的な豊かさ ▶ こころの豊かさ

施策体系

三芳町の描く未来と計画

重点プロジェクト

① 「みよしフォレストシティ構想」プロジェクト

② 子どもの幸せプロジェクト

③ 誰一人取り残さない元気応援プロジェクト

④ 行財政基盤強化プロジェクト

重 点 プ ロ ジ ェ ク ト

①「みよしフォレストシティ構想」プロジェクト

関 連 施 策

「コンパクトでやすらぎのある都市づくりの推進」

「交通環境の充実」

「立地や特性を活かした産業振興」

「伝統農法の保全・継承」

「都市近郊農業の推進」

「観光資源のブランディング」

「緑とふれあう環境・人づくり」

「歴史ある景観の維持・形成」

「地球温暖化対策」

構想の3つのポイント

町の魅力を活かす

SDGs推進

田園都市の考え

「みよしフォレストシティ構想」プロジェクト

①　重　点　プ　ロ　ジ　ェ　ク　ト

令和5年3月に「みよしフォレストシティ構想」を策定。
人々が安心して暮らし、ともに支えあい、いきがいと誇りをもち、
輝くことのできる農と緑の田園都市の実現をめざします。

「みよしフォレストシティ構想」

■三芳町と環境

三富地域の循環型農業や平地林が残り、
持続可能な発展という想いが根付くまち。

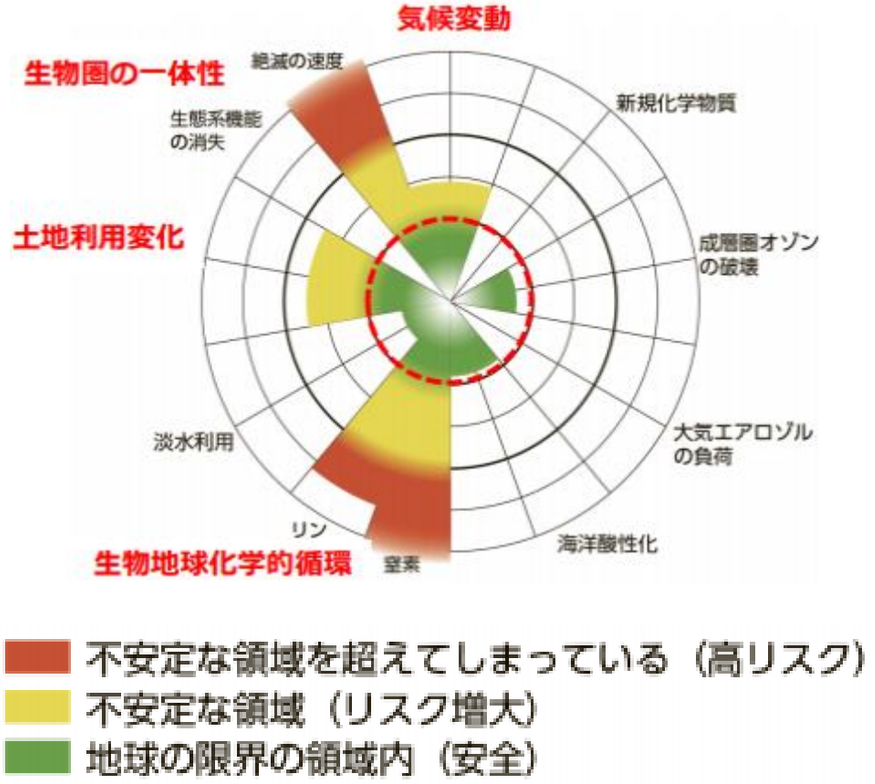
2030年、2050年に向けて
三芳町が今後も**持続可能なまちで**
あり続けるために

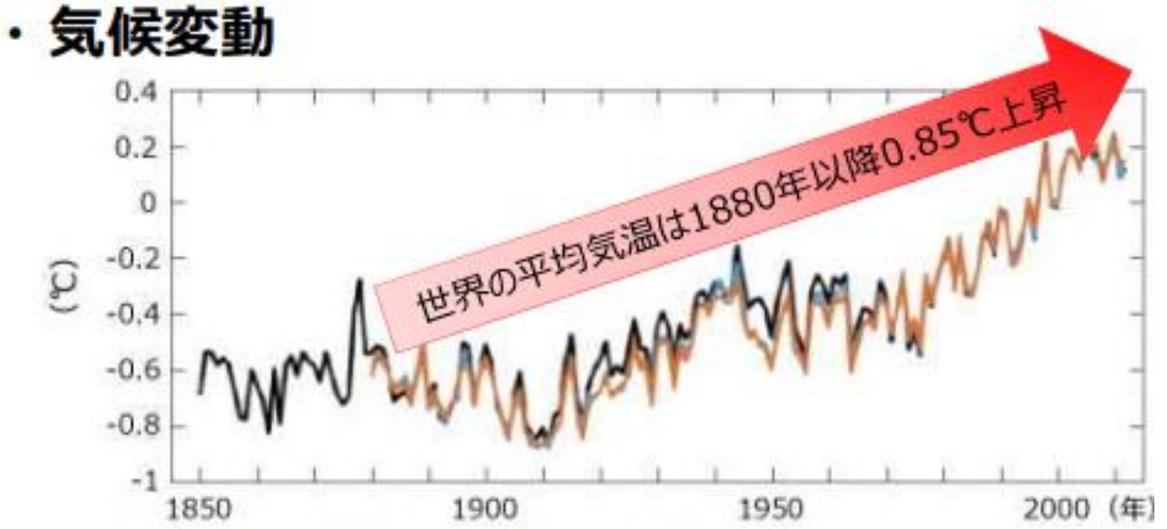
「みよしフォレストシティ構想」プロジェクト

① 重 点 プ ロ ジ ェ ク ト

地球の限界(プラネタリー・バウンダリー)

経済発展や技術開発により、生活は物理的には豊かで便利に
⇒しかし、**地球環境は限界**に達しつつある





注：陸域と海上とを合わせた世界年平均地上気温の1986～2005年平均を基準とした偏差。
色付きの線はそれぞれ異なるデータセットを示す。

資料：IPCC「第5次評価報告書統合報告書政策決定者向け要約」より環境省作成

「みよしフォレストシティ構想」プロジェクト

①　重　点　プ　ロ　ジ　ェ　ク　ト

田園都市（ガーデンシティ）

- ✓ イギリスの社会改良家ハワードが提唱した考え方
- ✓ 都市と田舎の良さ（魅力）を結び付ける新たな街
- ✓ 市民の健康・衛生・活力などを考慮した都市

雇用・交流・娯楽など

×

自然・新鮮な空気・癒しなど

写真：エベネザー・ハワード
出所：The Garden City Collection Study Centre , Letchworth Garden City Heritage Foundation

「みよしフォレストシティ構想」プロジェクト

①　重　点　プ　ロ　ジ　ェ　ク　ト

基本理念

1　緑あふれるまちづくり進めよう

2　持続可能な農業を未来に

3　スマートでコンパクトなまちを目指そう

緑化の推進

公園の保全・活用

農地・緑地の保全

農業遺産の推進

日本農業遺産
高瀬野の落ち葉堆肥農法

農業で地域活性化

三芳やさい

観光施策の充実

JAPAN GARDEN TOURISM

拠点整備と連携

デジタル・DX

防災・環境

重点プロジェクト

② 子どもの幸せプロジェクト

関連施策

「主体的に学び続ける人材の育成」

「質の高い教育環境の充実」

「誰一人取り残されない教育の推進」

「安全安心の学校教育環境と適正化」

「豊かな地域をはぐくむ、社会教育活動の推進」

「郷土学習の推進」

「保育環境等の充実」

「子どもの権利の尊重、こどもまんなか社会の実現」

「こども・子育て支援の充実」

「親と子の健康づくりの増進」

「少子化・人口減対策」

子どもの幸せプロジェクト

② 重 点 プ ロ ジ ェ ク ト

地域全体で子育てを応援する環境づくりに取り組みます。(詳細は下表)。
また、子どもの権利に関する理念の実現を町全体で取り組むとともに、町への愛着形成を図り、「三芳町らしい」教育を推進し、子どものウェルビーイングの向上を図ります。

国連

1989年　**子どもの権利条約**　を策定

子どもたちが持つ基本的な柱
生きる権利　育つ権利
守られる権利　参加する権利

国

2023年　**子ども基本法**
2023年　**こども大綱**　を策定

三芳町

- 「(仮称)子どもの権利に関する条例」を策定予定
- 「日本型子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)」に取り組む

取り組む内容

- 子どもや子育て家庭が安心して生活できるよう切れ目のない支援
- 住みやすい住環境整備
- 魅力ある教育環境
- 子育てと仕事の両立を図るため地域全体で応援する環境づくり

重 点 プ ロ ジ ェ ク ト

③誰一人取り残さない元気応援プロジェクト

関　連　施　策

「疾病予防・重症化予防」

「フレイル予防対策の推進」

「活動的でいきがいのもてる生活支援」

「高齢者福祉」

誰一人取り残さない元気応援プロジェクト

③　重　点　プ　ロ　ジ　ェ　ク　ト

高齢化率が一層高まると考えられるなかで、誰もが健康で元気に暮らすための
取組を町民と創り上げます。

**町民との協働により健康づくり・介護予防
を進めてきました。**

H30：ささえあい・みよし
（生活支援体制整備推進協議体）

**R2：65歳から始める
フレイル予防講座**

**R3：第二次三芳町
地域福祉計画**

**R4：Health for All
大抽選会・講演会**

（抜粋）

更なる発展を目指します

- 疾病予防・重症化予防
  健康づくり・介護予防に関する住民との協働
- フレイル予防対策の推進
  大学等と連携をしながら
  フレイル予防を住民と作り上げます
- 活動的でいきがいのもてる生活支援
  福祉教育の充実
  総合相談体制の充実
  支え合いの充実

重 点 プ ロ ジ ェ ク ト

④ 行 財 政 基 盤 強 化 プ ロ ジ ェ ク ト

関　連　施　策

「多様な主体等との連携による共創のまちづくり」

「職員の育成と組織力の強化」

「財政運営」

「行政運営」

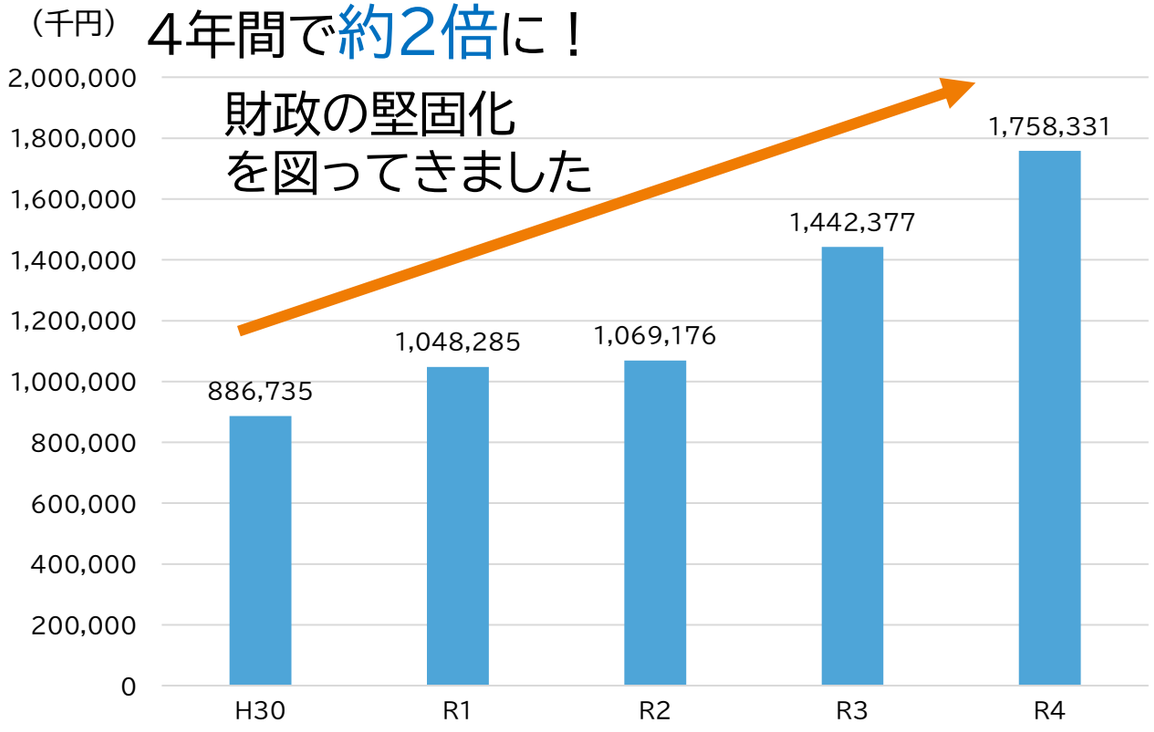
行財政基盤強化プロジェクト

④　重　点　プ　ロ　ジ　ェ　ク　ト

より一層の財政基盤の強化、DX化等を図り、将来にわたり持続可能な町政運営をめざします。

■財政調整基金の推移

地方財政の「基金」≒家計における「貯金」
財政調整基金は、町税等の財源不足や災害等の際に活用して将来負担を抑える目的の基金である。



しかしながら、
- ふるさと納税の制度改正による収入減
- 公共施設の老朽化対応による支出増
- 多様な価値観による行政需要の増加に伴る支出増

より一層の財政基盤の強化
が必要

- DX化等による財政のスリム化
- ふるさと納税の返礼の拡大による歳入の拡大
- 公共施設の複合化

等に取り組んでいきます

分 野 別 ビ ジ ョ ン

①みんなとつながる共生のまち

共創のまちづくり

「これからの持続可能な未来のまちづくりは、『協働』に新たな価値を創造する『共創』を加え、
革新的なまちづくりモデルや地域活性化につなげるオープンイノベーションを創出します

協働

一つの目的について、
予め役割を定めて取り組むこと

みよしグリーンサポート隊

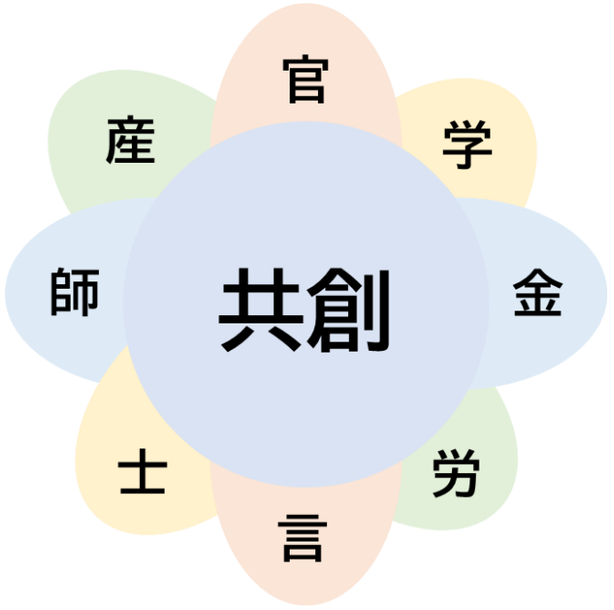
運動公園東側雑木林と
唐沢小学校隣接林の
整備・保全

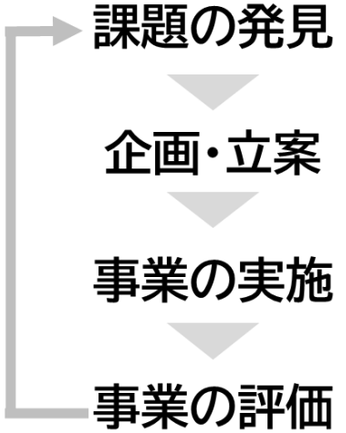
みよしっ子野菜市

三芳生まれ三芳育ちの
「みよし野菜」を直売

共創

多様な主体が目標設定の段階から連携し、
それぞれが持つノウハウや技術等を共有すること
で新たな価値を共に創りあげていくこと。





共生社会の推進

みんなとつながる共生のまち

H26～ R2～ R5～

手話言語条例
あいサポート運動

- 共生社会推進グループ設置
- 共生社会推進懇談会での議論
- 共生社会ホストタウン事業

みよしWell-beingの
まちづくり宣言

誰一人取り残さない
共に生きる幸せなまち　三芳

あいサポート運動

「あいサポート運動推進に関する連携協定」締結 10 周年

平成26年10月16日に鳥取県・富士見市・三芳町にて
障がいの有無にかかわらず、すべての人が
住みやすい社会の実現を目指す
あいサポート運動推進に関する連携協定を締結

- 手話サロンの開催
- 手話通訳等の情報保障
- 意思疎通支援の担い手を養成

あいサポート運動とは…

困っていることを理解し、**ちょっとした手助けや配慮**を行い、人が暮らしやすい共生社会を一緒につくっていく運動

手話言語条例

平成27年12月10日に制定

- **手話は日本語（音声言語）とともに**コミュニケーション手段の一つ
- 視覚的に表現する言語である「手話」を使う人と音声言語である「日本語」を使う人が、**それぞれの言語を尊重**し、意思疎通を図り**ともに生きる社会（共生社会）**を目指す

みよしWell-beingのまちづくり宣言

みんなとつながる共生のまち

現在の自治体を取り巻く社会情勢は、少子高齢化、人口減少などによる社会の支え手の不足が進行し、極めて厳しい状況にあります。さらには、コロナ禍によって人と人のつながりが薄れてしまうような状況もありました。こうしたなかでは、どんな人でもお互いに、敬意と想像力をもって、支え合い、力を発揮し、受け入れ、誰一人取り残さずに、まちの全てが共に生きるまちづくりを取り組んでいく必要があります。

まちに住む誰もが自分らしく生き、こころもからだも健康で元気に共生することができるまちとなることで笑顔が生まれ、安心かつ利便性の高い環境を整え、豊かな緑と産業を財産として、みんなが活躍しながら共に創りあげ、住民のWell-beingが実感できるまちづくりを推進していきます。

そして、共に創りあげた未来は今の子どもたちの時代につながり、今の子どもたちの幸せは、まちの未来の幸せにつながっていきます。まちの夢と希望のため、子どもたちにやさしいまちづくりを行っていきます。

これらを通じて、「誰一人取り残さない共に生きる幸せなまち三芳」の実現を目指し、「みよしWell-beingのまちづくり」を進めていくことを、ここに宣言いたします。

令和6年3月23日

三芳町共生社会推進懇談会

2025年11月、第25回デフリンピック開催！

TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

■ホストタウンの締結

2023年9月25日に三芳町は、
マレーシアのホストタウンとなりました。
東京2025デフリンピック大会において、ホストタウンとなったのは
三芳町が全国ではじめてです。

デフリンピック

聞こえない(デフ)アスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会。
2025年11月には日本で初めてのデフリンピックが東京で開催。

手話言語通訳でコミュニケーション

ランプの光でスタートを知らせる

審判の合図は笛だけでなく旗で

分 野 別 ビ ジ ョ ン

②誰もが自分らしく生きるまち

国際交流･国際理解教育の推進

誰もが自分らしく生きるまち

- マレーシアPJ市へ町の中学生を派遣し、国際理解教育の推進
- みよしまつりにマレーシアPJ市（姉妹都市）の訪問団を招待し、ダンスで交流
- オランダ王国へ町の中学生を親善大使として派遣し、国際交流の推進

■マレーシアPJ市（姉妹都市）との交流

■オランダ王国への派遣

オーストラリア派遣も
計画中

オーストラリア視察の結果報告

誰もが自分らしく生きるまち

国際交流事業の更なる推進に向け、2010年まで交流のあったオーストラリアとの
交流再開を目指し、5月17日～5月22日に、
令和7年度の中学生親善大使の派遣に向けた現地調査及び現地視察を実施しました。

在ブリスベン
日本国総領事館表敬訪問

三芳町長　林　伊佐雄
三芳町教育委員会教育長　古川　慶子
秘書広報室長　高橋　成夫
が出張

ホストスクールであるブリスベン・サウス・
ステート・セカンダリー・カレッジを視察

クイーズランド州政府教育省（EQI）のスタディツアー説明
副ダイレクター：Mr. Martin Lock

環境保全プログラムを提供している
クイーズランド州政府教育省（EQI）
に所属している環境教育センター
を視察

ホストスクールである
ケドロン・ステート・ハイスクール
を視察

新たな教育大綱

誰もが自分らしく生きるまち

教育大綱とは…

新たな教育等の振興に関する基本理念

町長と教育委員会で構成する総合教育会議で協議し、地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、目標や施策の根本となる方針などを定めるもの

「君の夢は何？」

二度とない人生。その人生をどのように自分らしく、幸せに生きることができるのでしょうか。

世界を見渡してみると、今なお戦争や貧困や病気等で、幼くして命を落とす多くの子どもたちがいます。彼らは、どのような気持ちで毎日を生きているのでしょうか。

今から 30 年ほど前、発展途上にあるアフリカやアジアの子どもたちへの支援活動を行っていました。エイズが蔓延するスラムで生きる子どもたち、「スモーキーマウンテン」(絶えず発火して煙の絶えないゴミの山)でゴミを拾って生活している少女、火山噴火によって被災した少数民族の少年、孤児院の子どもたち･･･。彼らは、生と死の狭間にあり、貧困の中にあっても未来を見つめ、その瞳は眩しく輝いていました。

「Ano ang pangarap mo ?」(「君の夢は何？」タガログ語)

「看護師になってお母さんを助けてあげたい」

「パイロットになりたい」

少年少女は、目を輝かせて答えてくれました。

夢は、未来への人生の道しるべであり、生きる希望であり、生きる意味であり、人生を幸せにする原動力です。当時、人生の意味に迷い苦しんでいた私に、子どもたちの夢を語る眩く輝く瞳が、生きる勇気と希望を与えてくれました。

誰しもが、夢に向かって生きることができる、誰一人取り残されない教育を目指してまいります。

新たな教育大綱

誰もが自分らしく生きるまち

新たな教育等の振興に関する基本理念

R6.4 策定

…令和6年度から令和9年度までの4年間

①未来を切り拓く力の育成

変化の激しい予測困難な社会を生きるために、主体的に学び続ける力・豊かな人間性・健やかな体をバランスよく育むとともに、グローバル化する社会の持続的な発展に向けて一人一人の多様な才能や能力を生かす教育を推進し、主体的に社会の形成に参加する人材を育成します。

- 自分から進んで学び続ける力
- 誠実で自分を大切にできる心の育成
- すこやかな体づくり
- グローバル化に対応した学習
- 志を持ち、チャレンジする人材育成

②すべての子どもに学びの保障

子どもが抱える課題の解決に向けて子ども一人一人に向き合い、誰一人取り残されず、相互に多様性を認め、すべての子どもの可能性を引き出すような、多様な状況に応じた学びを進めます。また、次世代を見据えた教育政策を推進します。

- きめ細やかな教育相談活動の充実
- 一人一人の状況に合わせた教育支援
- 子どもの権利を知る機会の創出
- 特別支援教育の充実
- 次世代を見据えた教育政策の研究

③地域まるごと学びの創出

子どもから高齢者まで一人一人が自ら学び、生きがいや自己実現などにつながる生涯を通じて学習ができる環境づくりを進めます。また、生涯学習活動を通じて地域への愛着を育み、家庭や地域で共に学び支え合う社会の実現に向けた取組を推進します。

- 生涯にわたる学びと活動の場の充実
- 図書館サービスの充実と読書活動の推進
- 文化財の保護と郷土学習の推進
- 家庭・地域・学校の連携
- 人権教育活動の推進

④学びを支える環境づくり

子どもたちが快適で安全に活動できる教育環境を整え、ICTを活用し、楽しみながら積極的かつ深く学ぶ教育機会を整備します。また、子どもたちに寄り添った教育を推進するため、教職員の資質能力の向上や働き方改革を推進します。

- 安心で快適な学習環境の整備・充実
- ICT 環境の整備
- 学校給食の充実
- 教職員の資質能力の向上
- 教職員の働き方改革

「学びに向かう力」を育てるMOVEプラン

誰もが自分らしく生きるまち

教育政策研究所を立ち上げ、外部のアドバイザーの意見を取り入れながら、
MOVEプランを策定しました。

三芳町教育政策アドバイザー（令和5年度）

＼デジタル・シティズンシップ教育／
今度　珠美（Imado　Tamami）
一般社団法人メディア教育研究室　代表理事

＼ICT利活用／
太田　耕司（Ota　Kouji）
学校DX戦略アドバイザー
東京都中学校長会事務局次長

＼誰一人取り残されない（不登校支援等）／
小栗　貴弘（Oguri Takahiro）
跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科准教授

＼探究学習、STEAM教育／
小村　俊平（Komura　Syunpei）
ベネッセ教育総合研究所教育イノベーションセンター長

＼キャリア教育、企業との連携／
竹内　正樹（Takeuchi Masaki）
NPO法人企業教育研究会　事務局長

＼非認知能力の育成／
中山　芳一（Nakayama Yoshikazu）
岡山大学教育推進機構准教授

（50音順）

自分らしく
あなたらしく
ともに
よりよく
生きる

未来へつながる MOVEプラン

自分とつながるプロジェクト
- 子どもを主語にする授業づくり
- 子どもと本をつなぐ読書活動
- 誰一人取り残されない3Aプラン

社会とつながるプロジェクト
- 産官学民と共創する授業づくり
- 特色ある体験活動

世界とつながるプロジェクト
- 確かな英語力を支えるグローバルアクション
- 国際感覚を育む国際交流
- 町の誇りを継承していく伝統文化・芸術文化

静岡県小山町との連携協力による富士登山

誰もが自分らしく生きるまち

令和6年2月7日に**静岡県小山町**と自治体間連携協力に関する基本協定を締結。

分野交流の一環として、小山町主催の富士登山へ学生を派遣予定。

小山町は、
世界文化遺産の
富士山の裾野に位置

学校トイレ・空調整備等による教育環境整備

誰もが自分らしく生きるまち

トイレ改修工事	
R4 以前	H24：三芳中学校 （耐震改修工事の際に洋式化） R1～R2：各小学校 R4：三芳東中学校（西側）
R5	• 三芳東中学校（東側）
R6	• 藤久保中学校（東側）
R7 以降	• 藤久保中学校（西側）

空調	
R4 以前	H26：中学校3校（普通教室） H27：小学校5校（普通教室）
R5	-
R6	• 上富小学校（体育館） • 竹間沢小学校（体育館） • 三芳中学校（体育館） • 三芳東中学校（体育館）
R7 以降	• 三芳小学校（体育館） • 唐沢小学校（体育館） • 藤久保中学校（体育館）

※藤久保小は藤久保地域拠点施設整備により実施予定

改修を行った
三芳東中学校のトイレ

小学校の統廃合の検討

誰もが自分らしく生きるまち

課題　子どもの**社会性の低下**や**少子化の進展**を背景として、
学校の小規模化に伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化。

全国の動向　公立小中学校の設置者である市町村に対し、地域の実情に応じ、
教育的な視点から**少子化に対応した活力ある学校づくり**の方策策定を進めている

▪
▪
▪

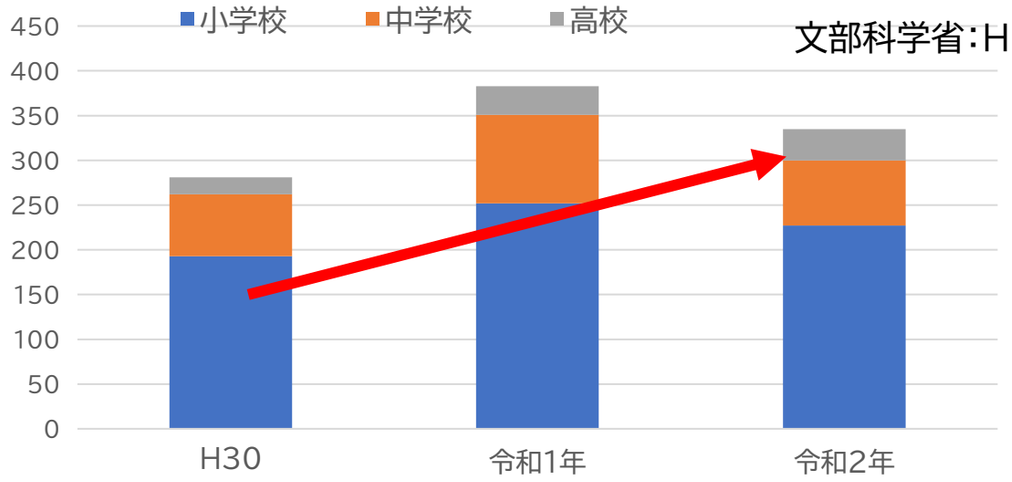
三芳町の取組

R4.5　：三芳町小中学校適正規模
　　適正配置検討委員会を設置し審議

R4.12：委員会より報告書提出

R5.2　：三芳町立小中学校適正規模適正配置
　　の基本方針を策定

公立小中学校等における廃校数の推移



文部科学省：HPより

近年、廃校が増加傾向

小学校の統廃合の検討

三芳町立小中学校適正規模適正配置の基本方針

	町立小中学校の適正規模 個別最適かつ協働的な学びにより こどもの可能性を延ばすための 適切な環境という観点から 学級数の基準を定めた	町立小中学校の適正配置 こどもの安全面を第一に 心身の過度な負担等ならないように 適正配置を定めた
小学校	クラス替えが可能である 1学年2学級以上	おおむね3km程度
中学校	クラス替えが可能かつ 全ての教科で専門の 教員数を確保できる 全学年で12学級以上	おおむね4km程度

小学校の統廃合の検討

小学校の適正規模適正配置の基本方針

- 多様な人間関係を育む
- 教職員数、経験年齢や専門性のバランス

適正規模（小学校）

クラス替えが可能な1学年2学級以上
（多様な考え方に触れ、新たな人間関係を築く）

適正配置（小学校）

おおむね3km程度

■上富小学校・竹間沢小学校　児童数が減少

クラス数の推移

上富小学校

R11年度には
新入生が
5人（上小）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1年	1	1	1	1	1	1（5人）
2年	1	1	1	1	1	1（16人）
3年	1	1	1	1	1	1（15人）
4年	1	1	1	1	1	1（13人）
5年	1	1	1	1	1	1（11人）
6年	1（16人）	1（9人）	1（19人）	1（20人）	1（14人）	1（17人）
全校児童数	95人	90人	94人	90人	86人	77人

小学校の統廃合の検討

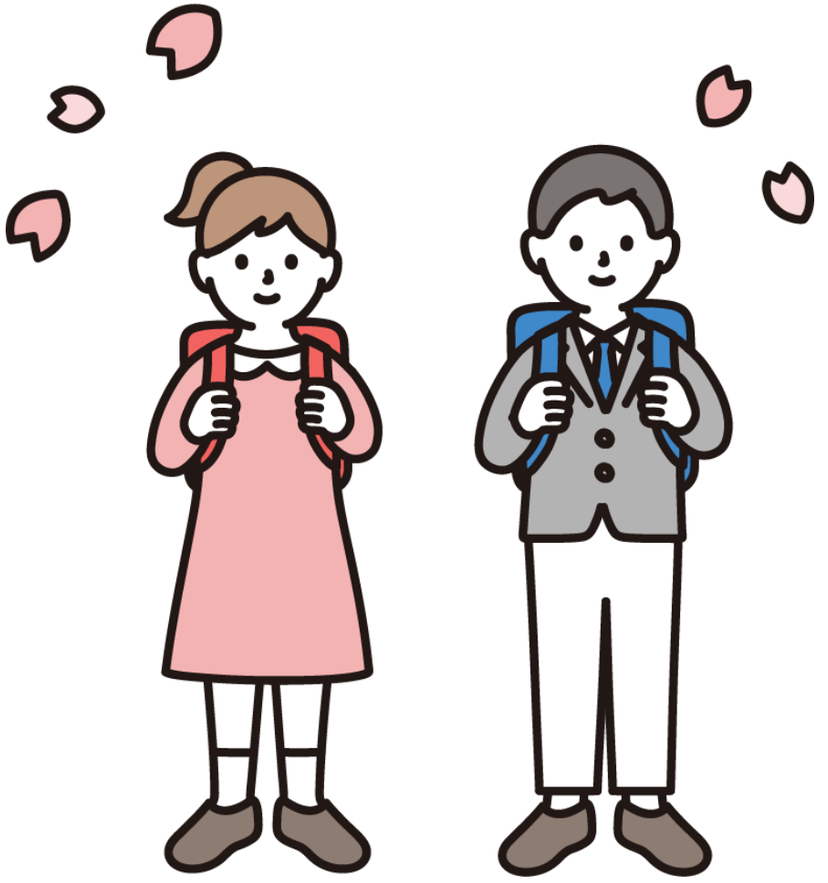
■今後の進め方

アンケート等
意見聴取

審議会
答申

再編となれば…
再編計画
策定

個別計画
策定



分 野 別 ビ ジ ョ ン

③健康で元気な笑顔があふれるまち

子どもの権利条例の策定

■「子どもの権利条約」の４つの原則

- **差別の禁止**
  （差別のないこと）
- **子どもの最善の利益**
  （子どもにとって最も良いこと）
- **生命、生存及び発達に対する権利**
  （命を守られ成長できること）
- **子どもの意見の尊重**
  （子どもが意味のある参加ができること）

子どもに対して、
大人たちの「約束」
となる条例を策定します。

子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）

健康で元気な笑顔があふれるまち

子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI=Child Friendly Cities Initiative）は、
「子どもの権利条約」を自治体レベルで具体化するための、ユニセフが主唱する世界的な活動です。
子どもに関するサービスを直接提供する自治体が、子どもに関わる事柄は子どもの意見を聞き、
自治体運営に新たな視点を取り入れます。

CFCIの広がり

世界　約40カ国の3,000以上の自治体やコミュニティ（2023年7月現在）で、実施

日本

1. 子どもの参画
2. 子どもにやさしい法的枠組み
3. 子どもの権利を保障する施策
4. 子どもの権利部門または調整機構
5. 子どもへの影響評価
…

（例）奈良市の取組

子どもの権利条例の策定

奈良市子ども会議の開催

こども家庭センター設置による子育て支援強化

健康で元気な笑顔があふれるまち

すべての妊婦さん、お子さんとその保護者を対象とした
ワンストップの総合相談窓口です。

R6年度
開設

こども家庭センター

妊娠・出産・育児
等に関すること

児童に関すること

妊娠期 → 乳幼児期 → 学齢期

母子保健担当が健康増進課からこども支援課に！
産まれる前から子どもの成長まで
ワンストップでのサポートを行います。

R6年度からの追加支援

- 産後ドゥーラ・ヘルパーを活用した子育て世帯訪問
- 産後ケアの補助金・対象者拡大

産後ドゥーラ

産前・産後の女性に寄り添い、家事や育児などさまざまなサポートをしてくれる専門家。

こども医療費・児童手当の対象拡大

健康で元気な笑顔があふれるまち

R6.4～：こども医療費の対象拡大

受給対象を満18才までに引き上げ

R6.10～：児童手当の増額

対象	給付額	
0歳～2歳	1万5千円	
3歳～小学生	1万円	第3子以降 1万5千円→**3万円**
中学生	1万円→**（第3子以降3万円）**	
高校生（18歳）	なし→**1万円（第3子以降3万円）**	
所得制限あり→**なし**		
支払月　年3回→**隔月（偶数月）**		

フレイルの予防による健康寿命の延伸

健康で元気な笑顔があふれるまち

フレイル　とは…

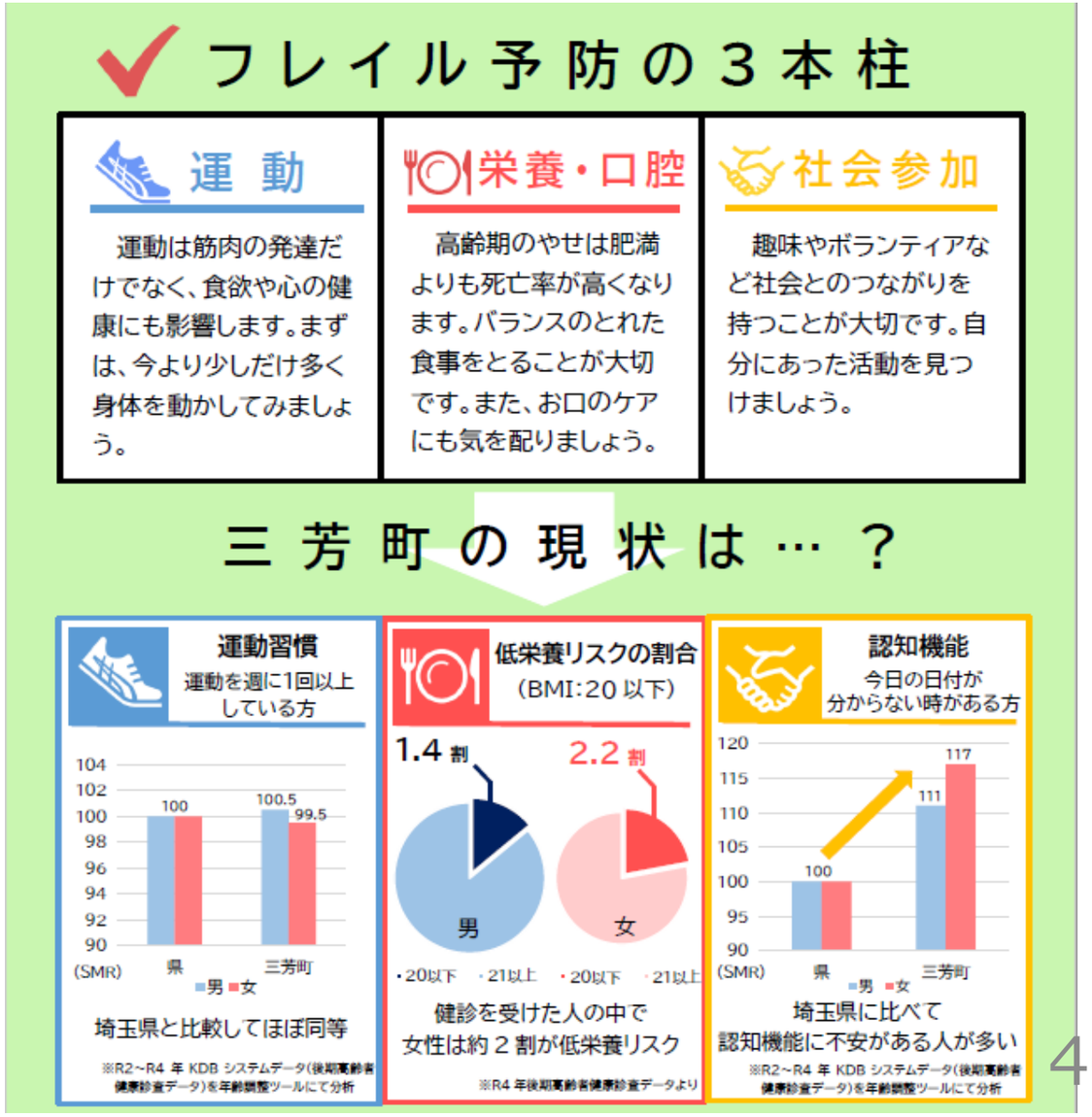
加齢に伴い、心身の機能が低下してきて
「健康」な状態と「要介護」の間の状態にあること

フレイルの種類は大きく3つ

①身体的フレイル

②精神的・心理的フレイル

③社会的フレイル



フレイルの予防による健康寿命の延伸

健康で元気な笑顔があふれるまち

フレイルの進行を防ぎ、健康な状態となれるように様々な事業に取り組んでいます

体力向上集中教室（健康づくり教室）

いもっこ体操

筋力アップ講座

生活習慣病予防教室

Health for All 大抽選会・講演会

65歳から始めるフレイル予防講座

フレイルサポーターの養成

フレイルサポーター　とは…

高齢者のフレイル予防への気づきと
自分事化を促すために作られた「フレイルチェック」
を行う住民主体活動の担い手

フレイルチェックとは

東京大学が作成したフレイルの様々な兆候を
調べることができるプログラム

協力を得ながら
サポーター育成や
フレイルチェック等
　を進めます

令和6年5月13日に東京大学と連携協定締結

分 野 別 ビ ジ ョ ン

④安心して便利に暮らせるまち

三芳町の公共交通

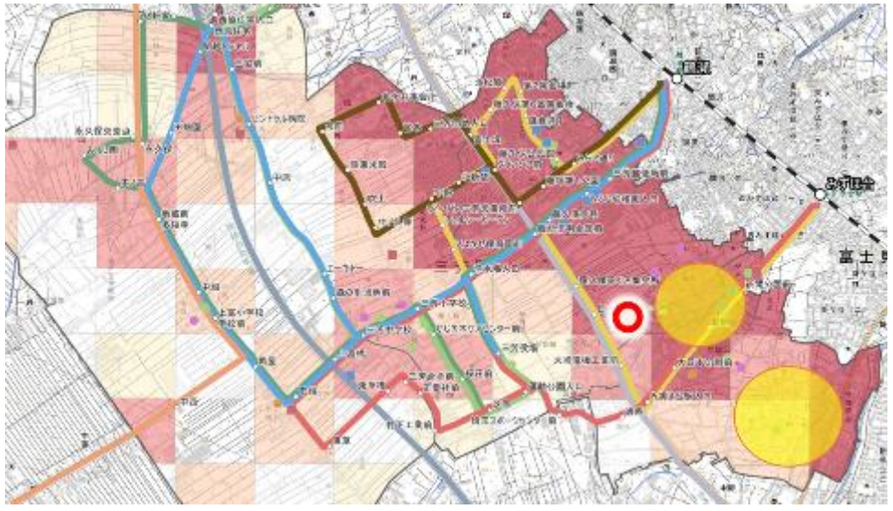
安心して便利に暮らせるまち

課題

- 交通空白地域の存在

  住民意識調査(R5)

  バスなどの公共交通の整備
  (やや不満＋不満:47.5%)



- 2024年問題(運転手不足)

拠点間を繋ぐ
交通ネットワークが必要

補助制度

●高齢者運転免許証自主返納支援制度

70歳以上の免許返納者に最大1万円補助

●公共交通利用補助制度

70歳以上＆妊婦の方に最大1万円補助

三芳町の公共交通

三芳町の快適な地域公共交通に向けて

進行中

地域公共交通協議会と審議

- 三芳町の現状把握
- ニーズ調査
- 交通事業者ヒアリング

を実施

これから

三芳町地域公共交通計画を
令和6年度末に策定し、
計画に沿って事業を推進

令和7年度
以降

①ライフバスの再編
②新交通システム
の導入

三芳町の公共交通

シェアサイクルの実証実験

HELLO CYCLING

■利用金額

利用開始30分まで130円
（延長15分ごとに100円、12時間あたり1,800円）
※車種により利用料金が異なります。

■利用方法

広報みよし6月号をご覧ください。

■町内のサイクルポートマップ

R6.4.1
より開始

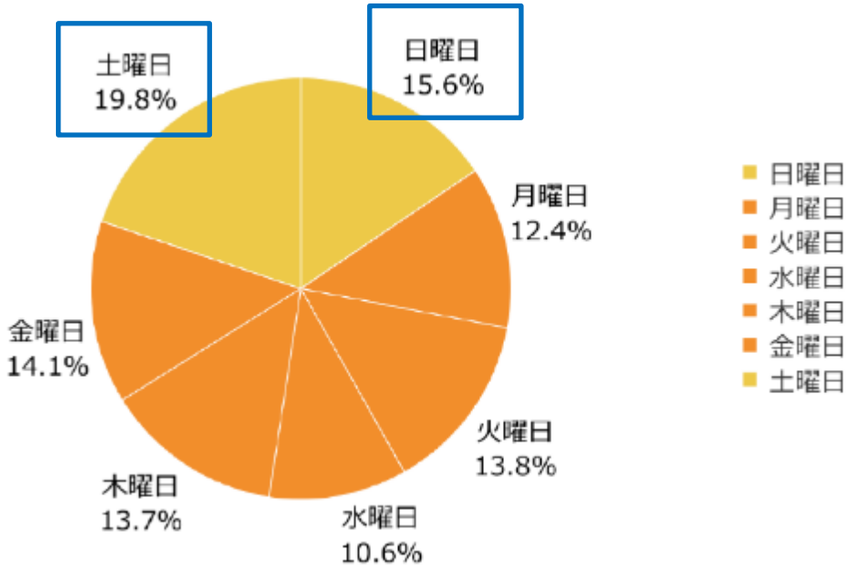
三芳町の公共交通

シェアサイクルの利用動向（令和6年4月時点）

■利用状況　利用者数　　：388人
　　利用回数／人：2.2回

■曜日別の利用状況

土日＞平日　の利用傾向であり
通勤以外にも幅広い利用の広がり



■利用の多いステーション

	ステーション名	貸出回数
1	北新埜中央公園	69
2	からさわ公園	61
3	三芳町役場	59
4	竹間沢公民館	43
5	北松原第2公園	33

三芳町の公共交通

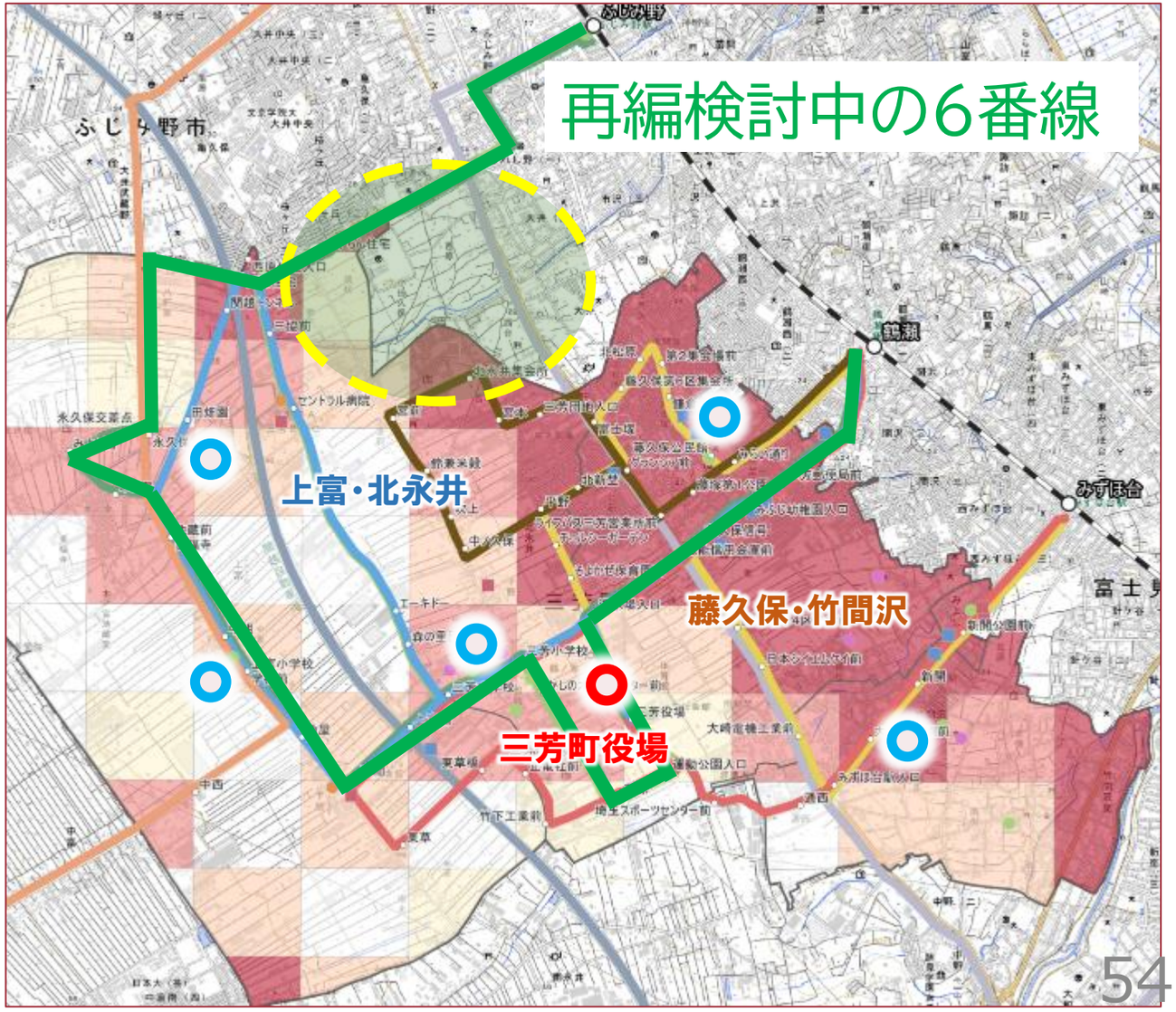
安心して便利に暮らせるまち

ライフバス6番線の再編案

ライフバス7番線の廃止に伴い
北永井地域の駅へのアクセスが低下

ライフバス6番線の再編を検討

- ふじみの駅へのアクセスを強化
- 渋滞の回避



三芳町の公共交通

安心して便利に暮らせるまち

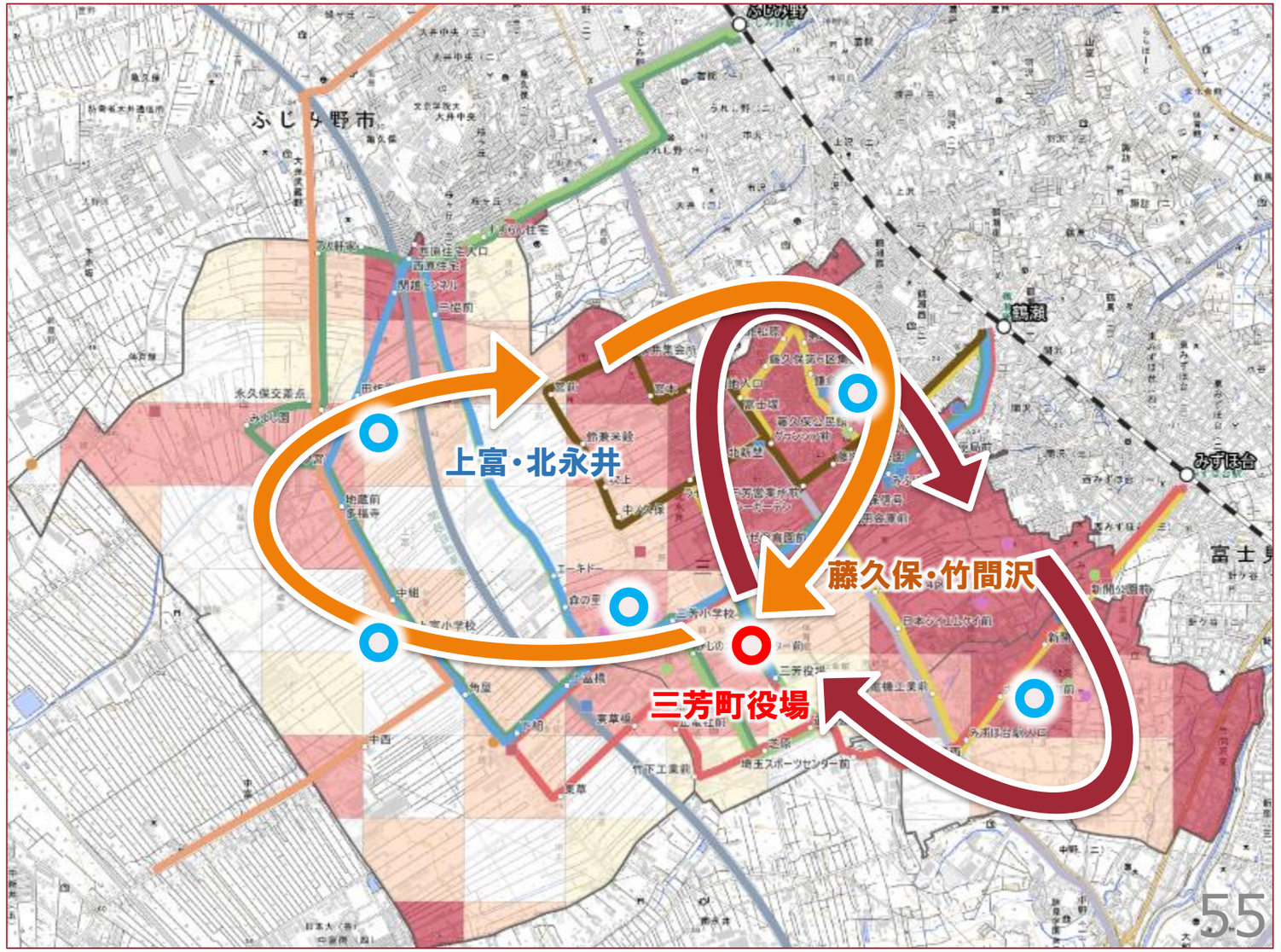
町内新交通の実証実験案

交通空白地の存在

町内新交通の実証実験

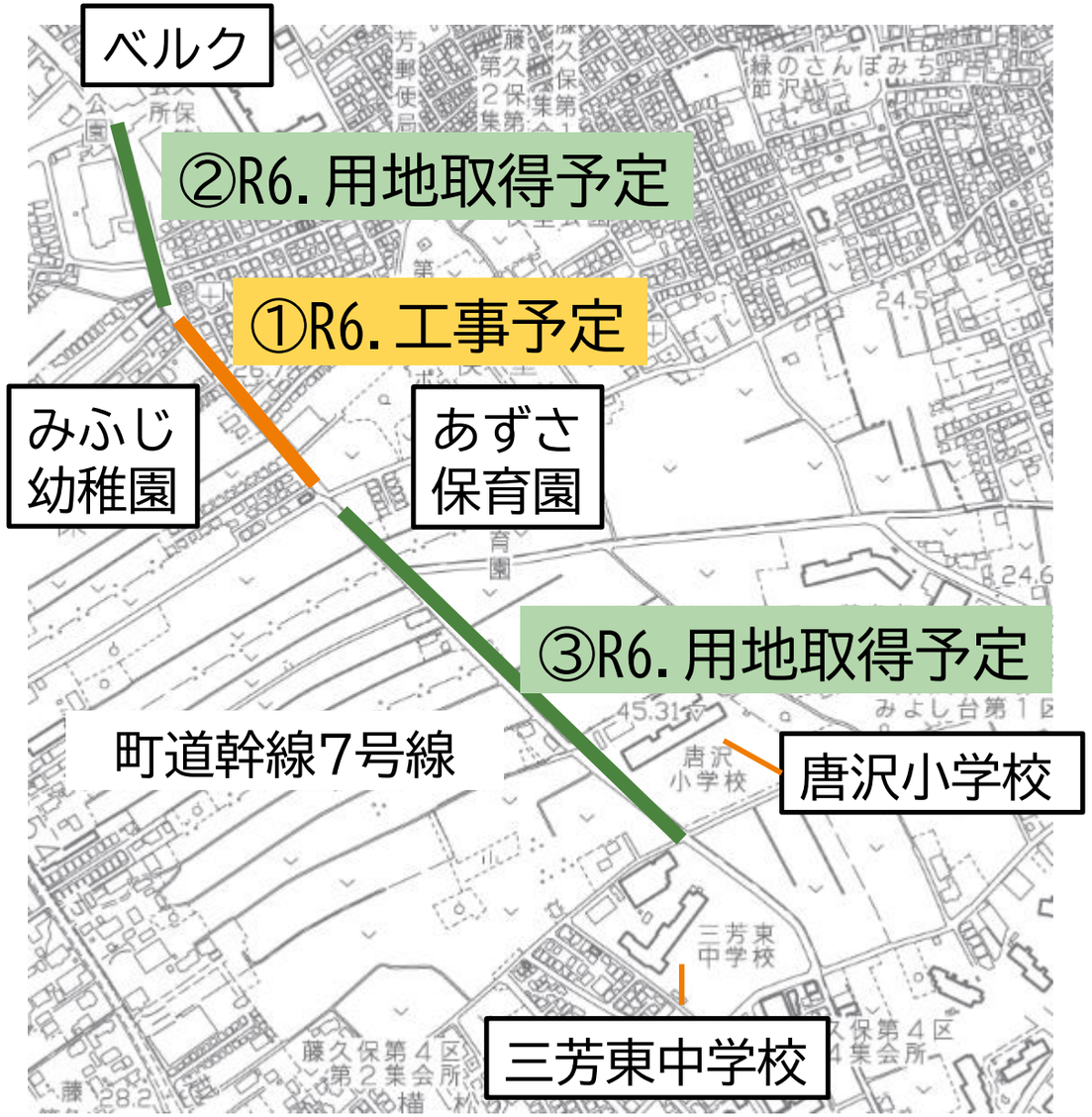
- 交通空白地の解消
- 拠点を繋ぐ

イメージ



都市計画道路の整備による利便性向上

安心して便利に暮らせるまち



①R6.工事予定

橋本医院前付近～スイミングスクールを過ぎた先の交差点（約245m）
両側3.5mの歩道を含む総幅員16mの街路を築造

②R6.用地取得予定

ベルク～橋本医院前付近
用地取得を実施

③R6.用地取得予定

スイミングスクールを過ぎた先の交差点～三芳東中
約450mの用地取得を実施。
※R6年6月時点で9割以上の用地取得が完了

都市計画道路の整備による利便性向上

大型車が大通りに出る道が少なく、住民の安心安全が危ぶまれる
- 大型車が通り抜けるためのスペースを確保した道路の整備を検討中

現在

都市計画道路整備における
アンケート調査中

書かない窓口による申請手続きの簡素化

一部の手続きで申請書の記入が不要に。

- 住民票の写し及び印鑑登録証明書
- 特例転入（前住所地でマイナンバーカードを使って転出した人が転入する場合の手続き）
- 転居
- 転出（郵送及びマイナポータルによる転出手続きを除く）
- 転入（紙の転出証明書を持参される人）

タブレットで内容を確認

画面に署名で申請完了

一部窓口に字幕表示システムを導入

誰ひとり取り残されない
共生社会の実現をめざして

障がいや多様性を超え、
コミュニケーションをもっと簡単に、
もっと伝わりやすくするために導入

会話→文字に

- 住民課、福祉課、こども支援課に設置予定
- 話した言葉をリアルタイムに表示
- 英語等の9言語に対応

図書館の自動貸出システムによる効率化

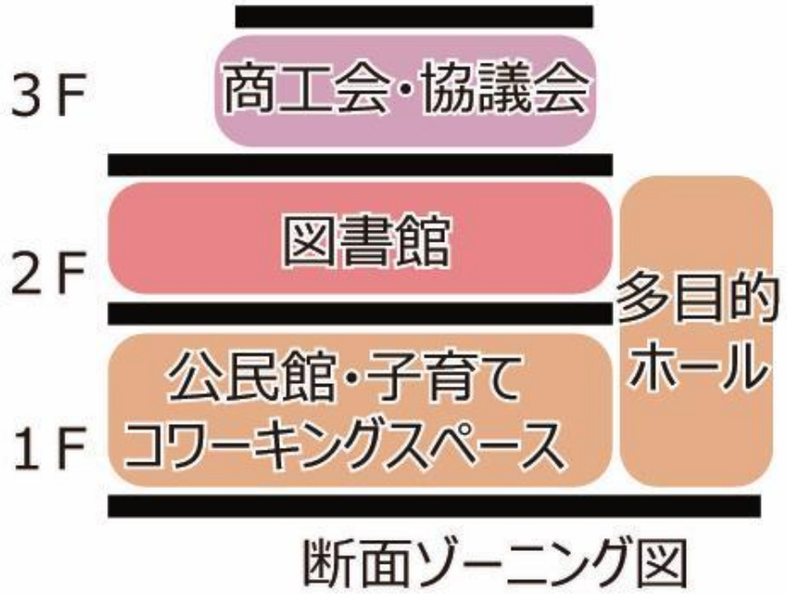
■自動貸出機

複数冊の本を重ねて置くだけで、貸出手続きができます。

藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

安心して便利に暮らせるまち



断面ゾーニング図

小学校・図書館・公民館・出張所
・子育て支援センター・保健センター
・商工会等　　の機能集約

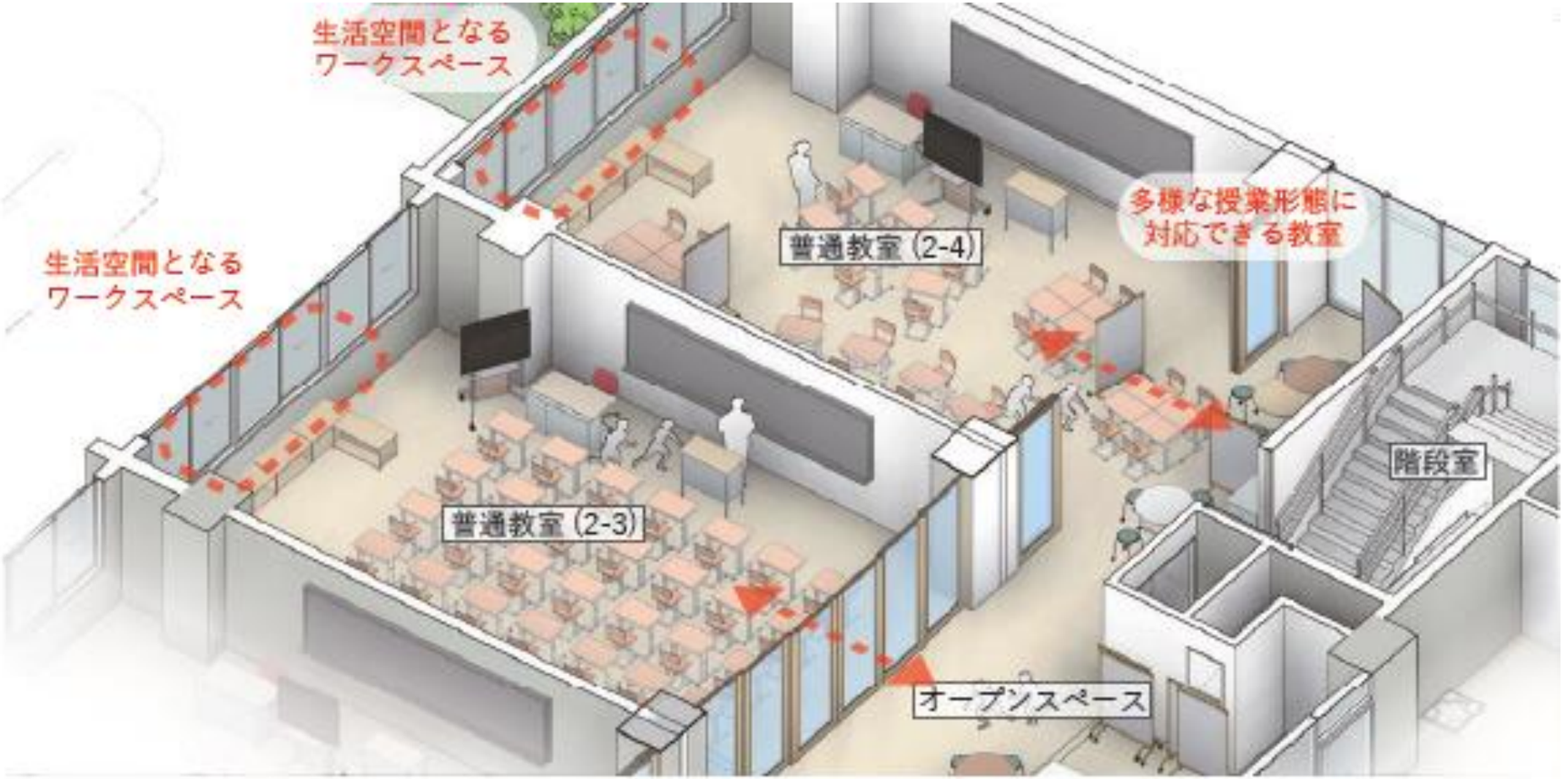
令和8年度中：一部利用～

令和9年度中：全施設利用開始予定

藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

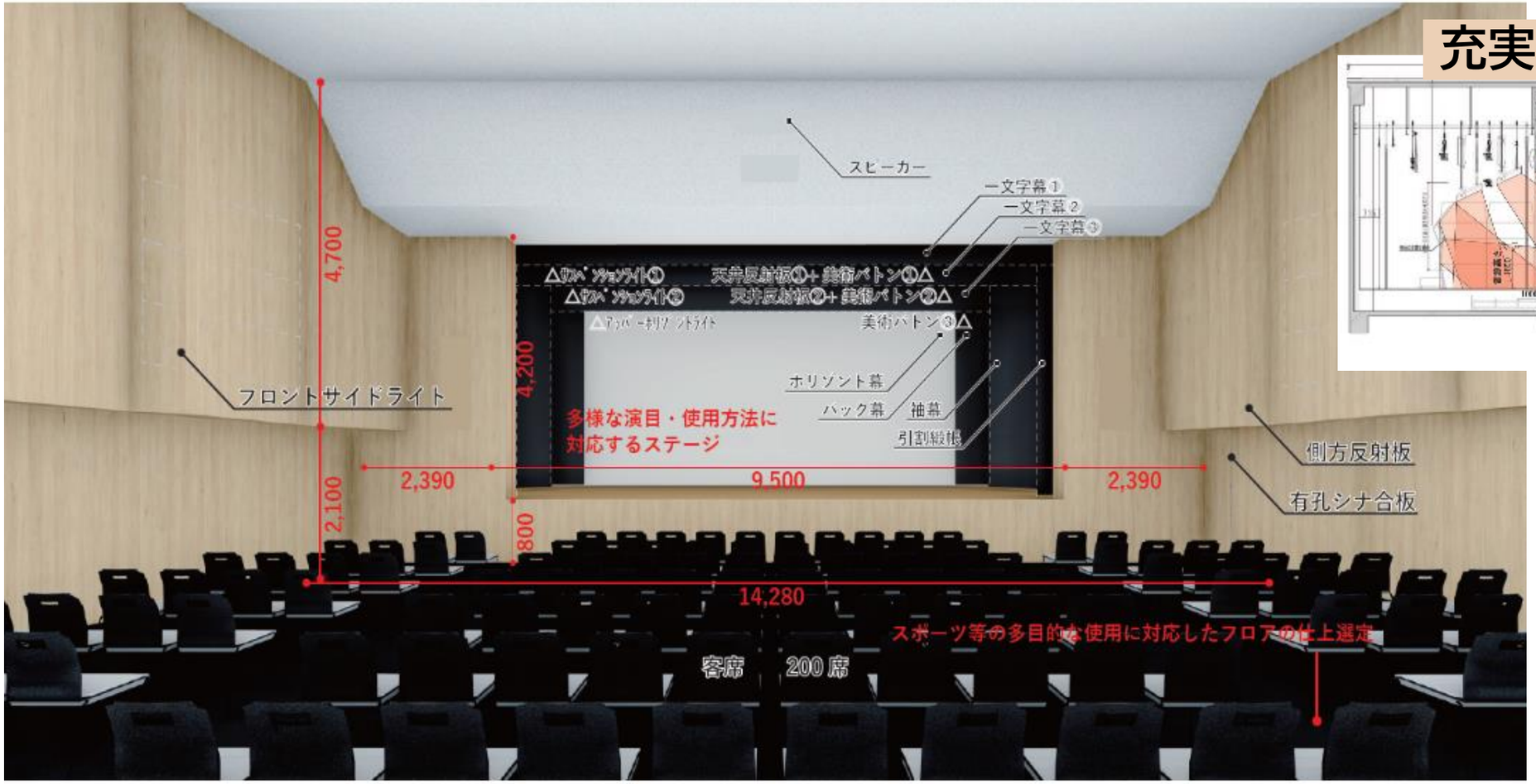
快適な勉強環境（イメージ）

教室のまわりは充実した空間となるように設計

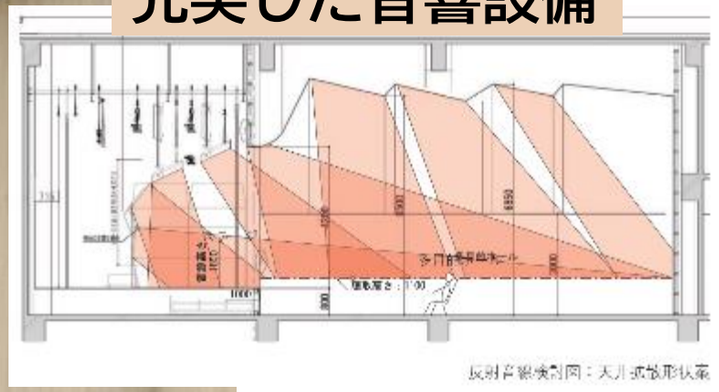


藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

コンサートにも対応した多目的ホール（イメージ）



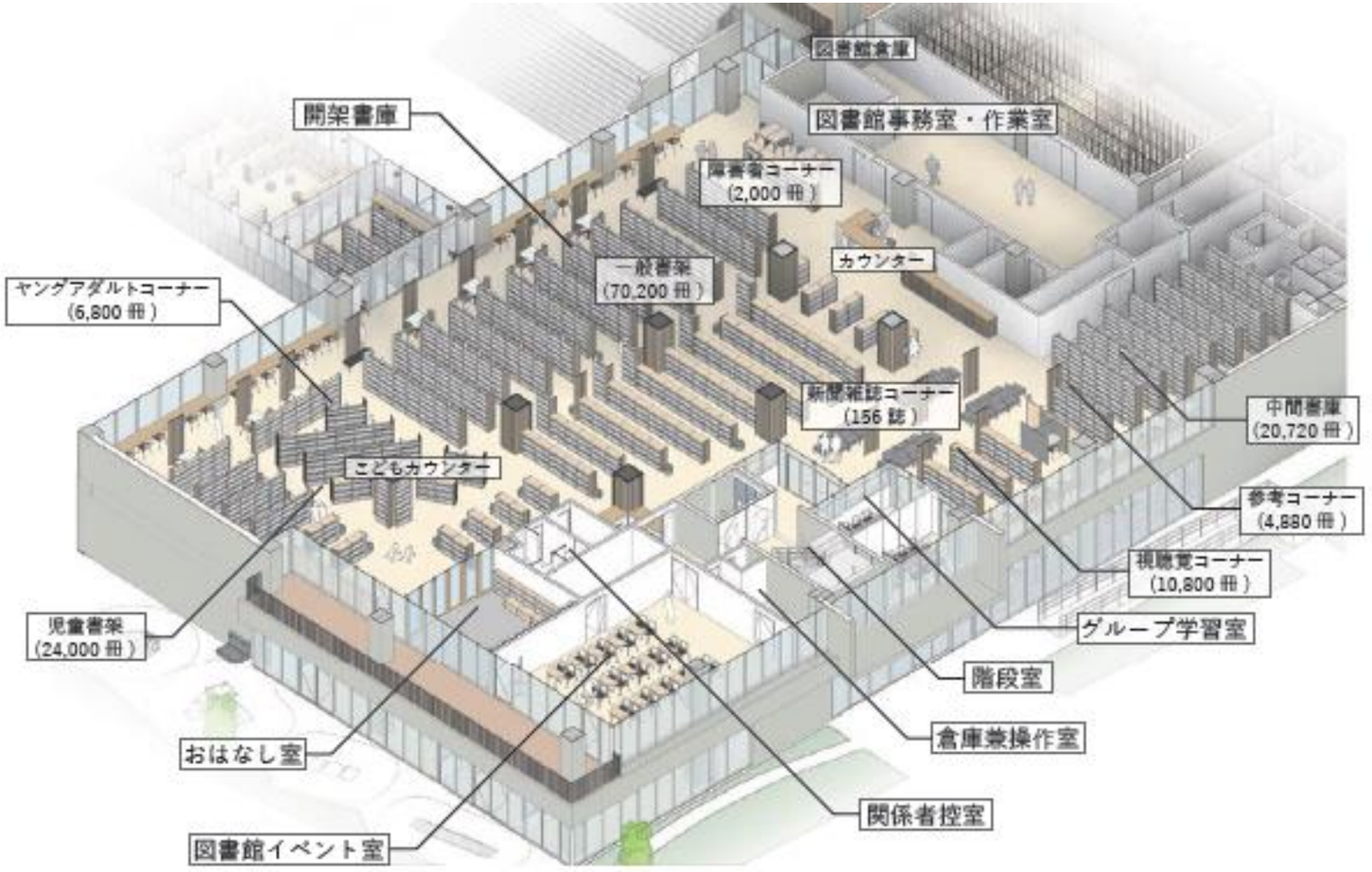
充実した音響設備



藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

安心して便利に暮らせるまち

平地林の中での読書をテーマとした図書館（イメージ）



三富新田をイメージ

藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

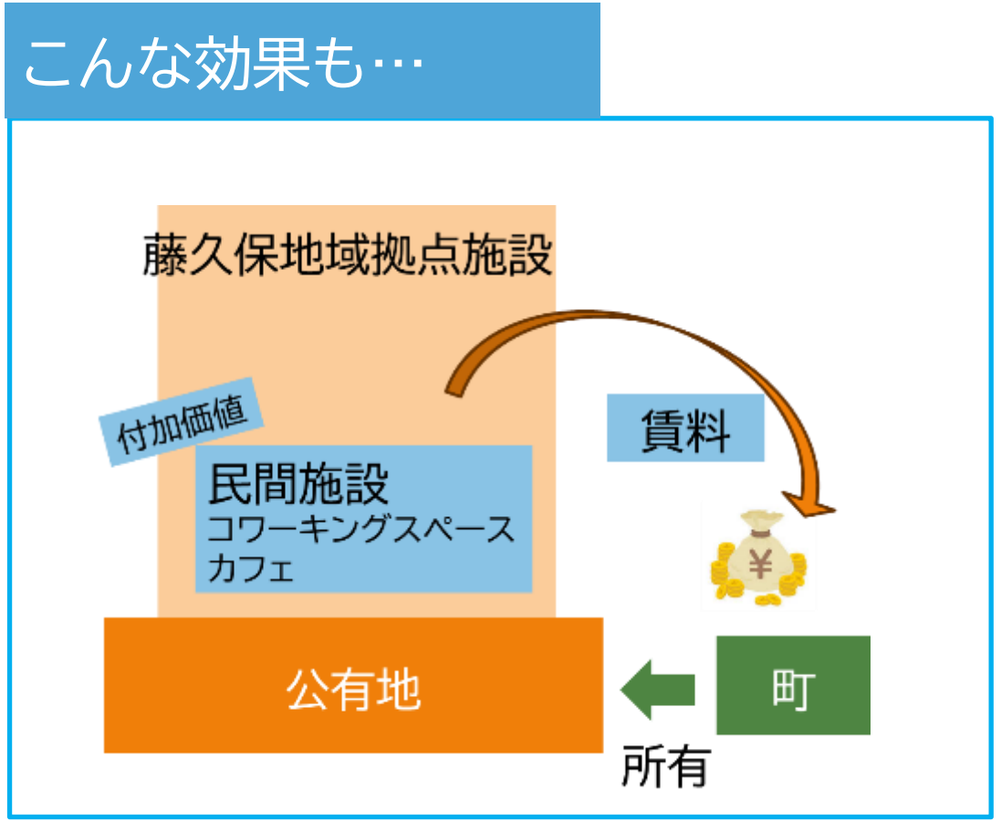
藤久保地域拠点施設に民間収益施設を設置

拠点施設内に民間収益施設を設置し、心地よい空間を。
民間企業のノウハウを使って魅力的な施設へ。

コミュニティFM事業者のスタジオ誘致

施設の賑わいや情報発信（通常時、災害時）
に非常に有益な施設。条件などについて協議中。

画像：FM西東京HP



藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

工事に伴う藤久保小学校の校庭の代替案

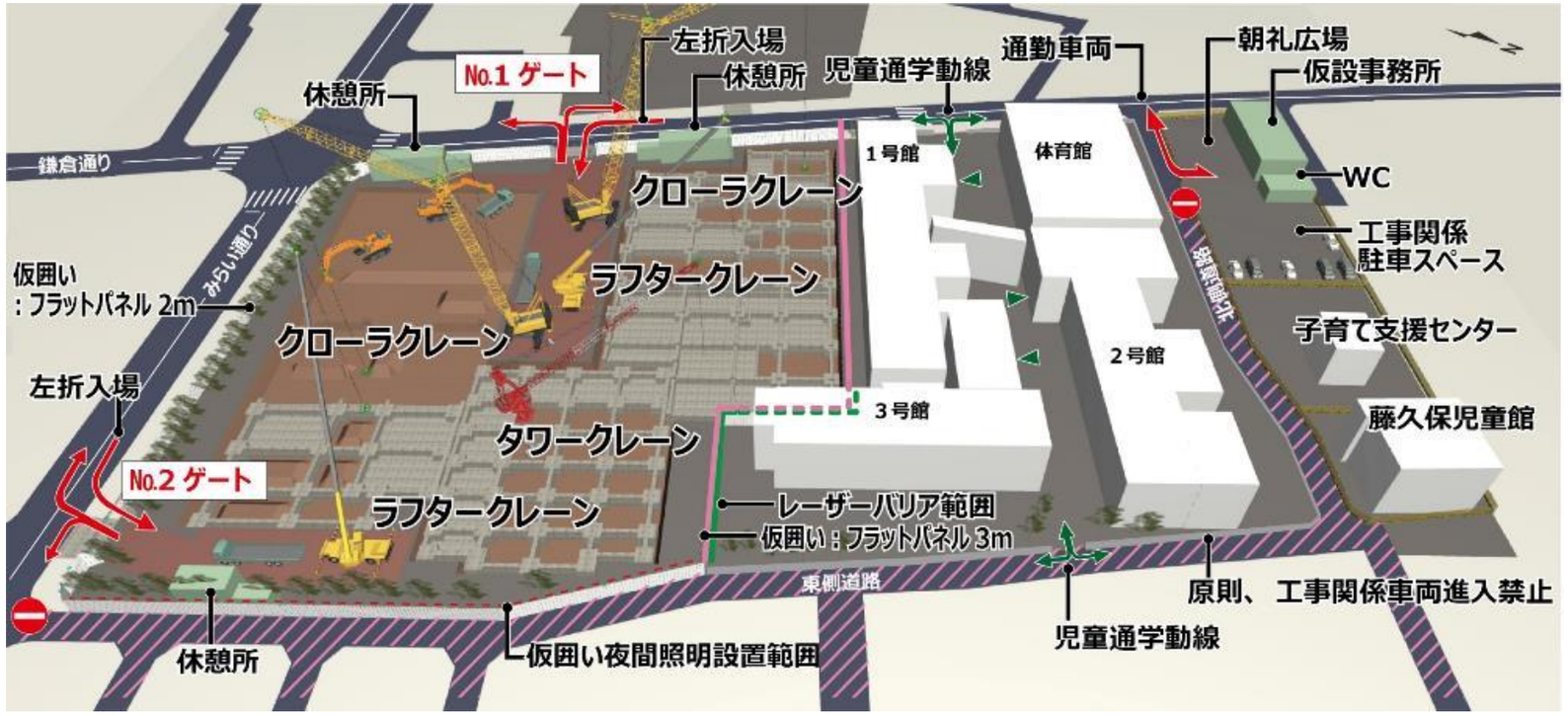
工事等に伴い既存校庭が使用不可となり、校庭代替地の使用を計画。

代替期間

令和６年９月
から
令和９年８月
（約３年間）

藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

安心安全な工事体制



- ✓ 道幅の狭い北側・東側の道路は常時工事関係車両の進入禁止
- ✓ 7:30～8:15 の間、工事車両の入退場を禁止
- ✓ 工事エリアの校舎側に「レーザーバリア監視システム」を設置

藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

建設工事期間を通して周辺環境や学習環境等へ配慮。

交通安全への配慮

透明パネル

情報発信

デジタル
サイネージ

騒音・振動対策

低騒音・
低振動型機械選定

近隣住民への配慮

夜間照明

クリーン活動

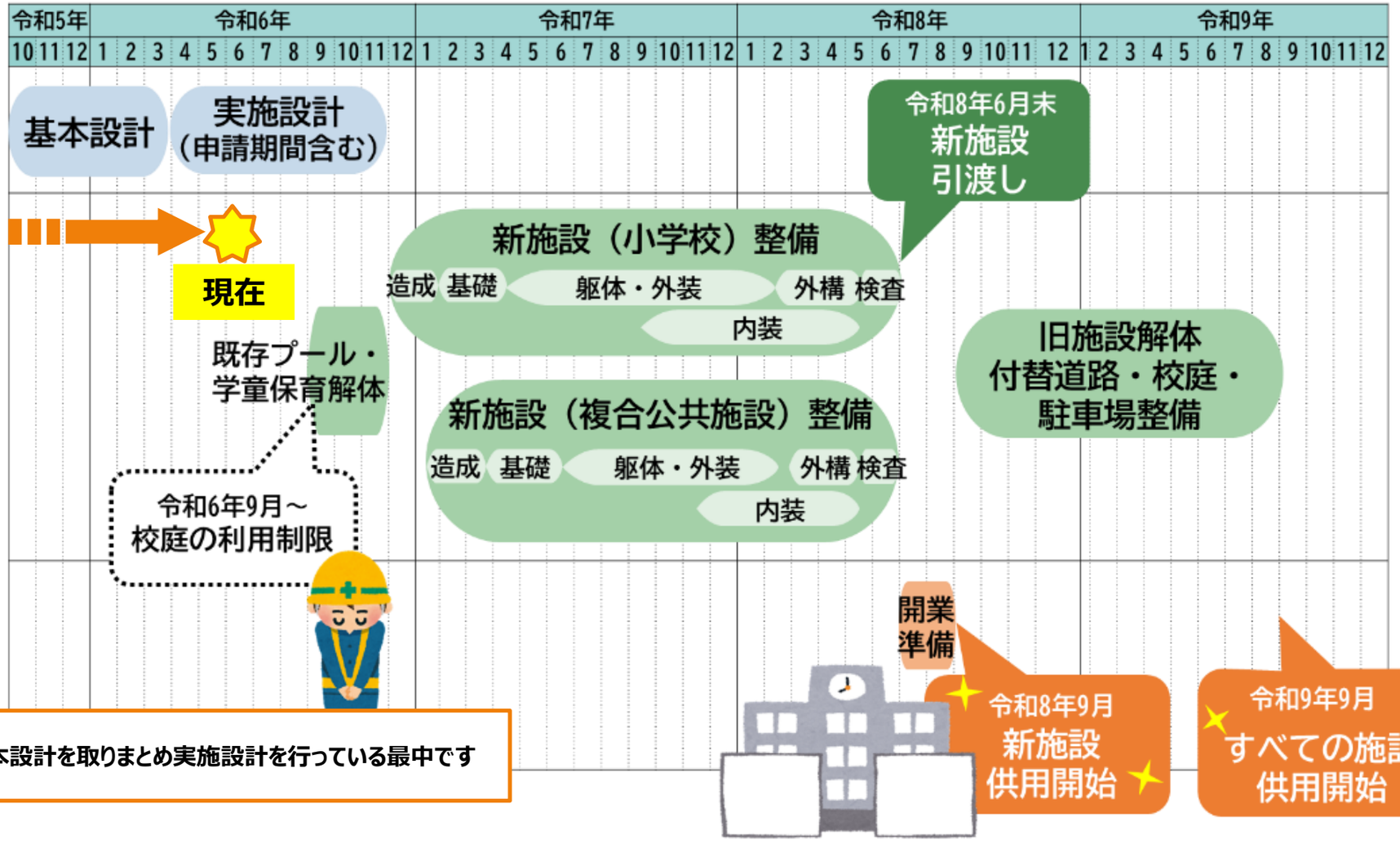
車両の洗浄・周辺の清掃

騒音対策

防音パネルの設置

藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

藤久保地域拠点施設の複合化に関するスケジュール



現在は、基本設計を取りまとめ実施設計を行っている最中です

藤久保地域拠点施設による世代交流の促進

安心して便利に暮らせるまち

藤久保地域拠点施設に関するワークショップ

7/7（日）10:00～

藤久保公民館ホール

内容

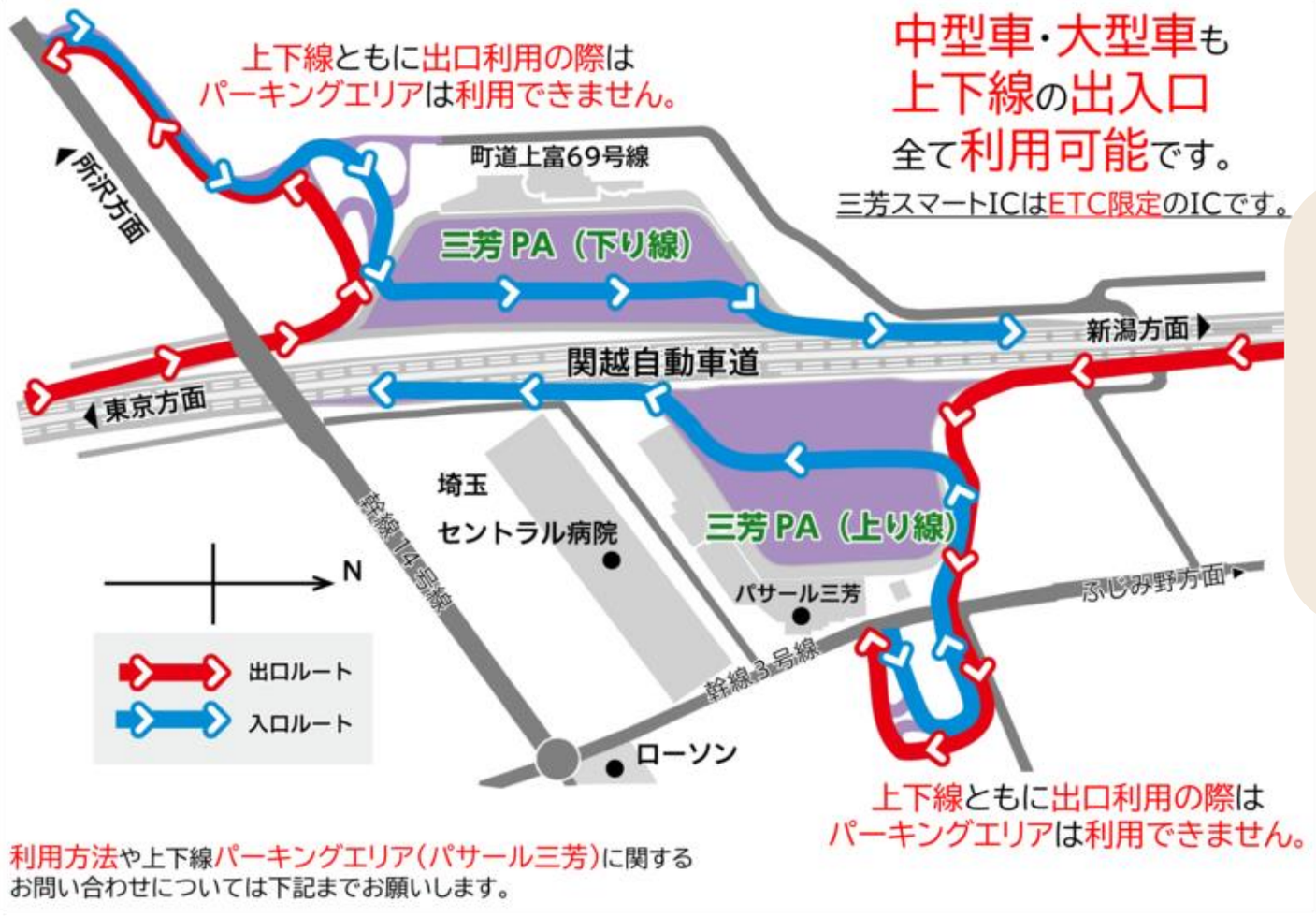
- 建物提案の説明
- 【テーマ1】みよしらしさを考える
- 【テーマ2】新しくできる場所の使い方を考える

ワークショップのイメージ

産業基盤の整備による企業誘致･留置

安心して便利に暮らせるまち

スマートICフル化



3月10日にフル利用化

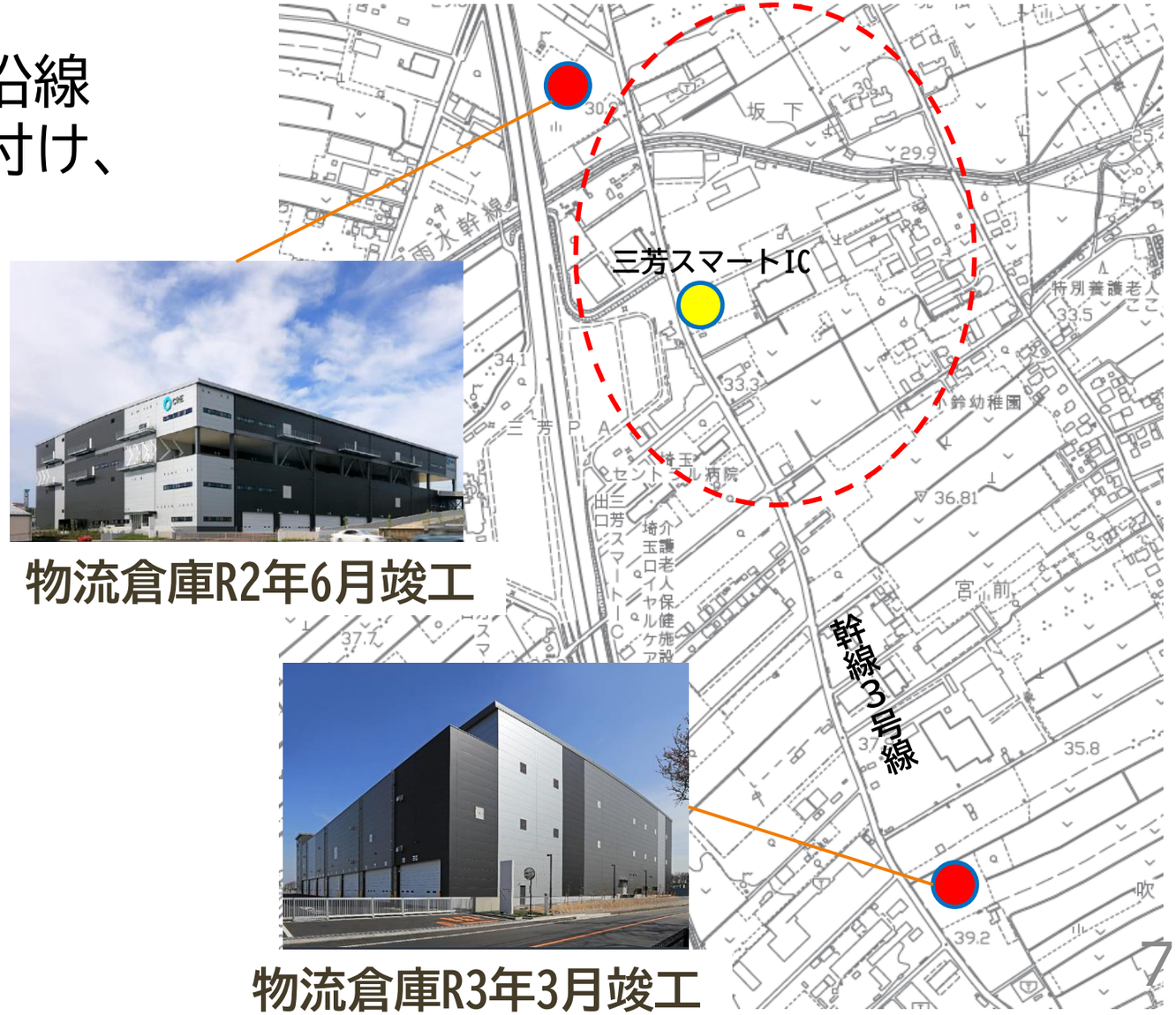
1日当たりの利用台数:約1万台

（想定の7千台を上回る）

産業基盤の整備による企業誘致･留置

安心して便利に暮らせるまち

スマートＩＣ周辺の町道幹線３号線沿線
を「みどり共生産業ゾーン」と位置付け、
企業誘致・留置を促進



物流倉庫R2年6月竣工

物流倉庫R3年3月竣工

【H29以降企業誘致・留置効果】

新規事業所の開設
既存の事業所における増築・拡張

年間税収効果　2.3億円/年

産業基盤の整備による企業誘致・留置

豊かで持続可能な産業があるまち

竹間沢通西地区の土地区画整理事業の推進を図り、企業誘致と雇用の創出を図ります

地区面積：約17ha

これまでの経緯

時期	主な取組
平成30年4月	発起人準備会の発足
平成30年6月	三芳町竹間沢通西地区土地区画整理組合設立準備委員会の発足
令和4年2月 令和4年4月	準備会発足に係る賛同書の取得 ※賛同書においては、「土地区画整理事業の施行に向けた検討の実施、組織の立上げに向けた準備を進めること」の2点に関することへの賛同を得たものである。
令和4年11月	三芳町竹間沢通西地区土地区画整理組合設立準備会の発足

現在　業務代行予定者を募集＆選定中

分 野 別 ビ ジ ョ ン

⑤豊かで持続可能な産業があるまち

（仮称）地域活性化発信交流拠点

豊かで持続可能な産業があるまち

スマートICフル化という広域的な交通節点を活用し、地域の魅力発信拠点の整備を進める

これまでの経緯

H30 （仮称）三芳バザール賑わい公園
基本構想の策定

R5 政策研究所での検討

R5 政策研究所より提言書

三芳町政策研究所「未来創造みよし塾」
（仮称）三芳バザール賑わい公園構想
プロジェクトチーム

提言書

必要な機能

- 集客施設
- 休憩施設
- 交通拠点
- 防災拠点

運営方法

民間活用の
検討

同提言を
踏まえつつ

スケジュール

R5:基本計画策定に向けた早期検討
↓
R6:業者選定（プロポーザル方式）
↓
R6:基本計画策定に着手
※基本計画策定検討委員会に格上げ

現在

（仮称）地域活性化発信交流拠点

豊かで持続可能な産業があるまち

■地域活性化発信交流拠点のイメージ

レストラン

アンテナショップ

半屋外空間

インビテーション センター

体験農業

デマンド交通

広場

芝生広場

貯水池

武蔵野の森

（仮称）地域活性化発信交流拠点

豊かで持続可能な産業があるまち

必要な機能等についてのアンケートを今後実施します（インターネットや現地調査にてヒアリング予定）

例）拠点に求める機能はなんですか。

①気軽に休憩ができる
②ならではのものを購入することができる
③観光情報を入手できる
④三芳町の産業に触れられる
⑤地域住民と観光客が交流できる
⑥子供が遊べる機能
⑦防災機能
⑧三芳町への移住・定住を促進するような機能

例）どのようなイベントがあったら参加したいと思いますか。

①グルメや地元特産品を活かした「食」のイベント・マルシェ
②朝市やフリーマーケットや「物販」のイベント
③「伝統的なおまつり」イベント
④農業体験イベント
⑤農業や林業・世界農業遺産に関する学習研修、講座などの「学ぶ」イベント
⑥自然観察会などの子どもを中心とした「体験」イベント
⑦外国人との交流を促す「国際交流」に関するイベント
⑧雑木林、松並木、長屋門等のまちなみ探訪会

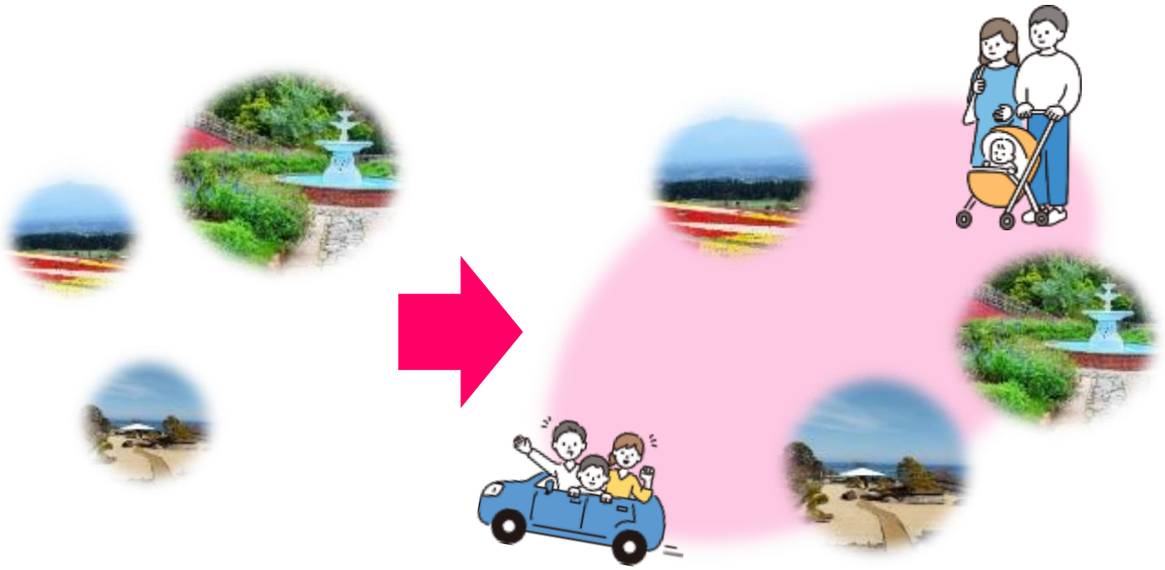
世界農業遺産を活用したガーデンツーリズム

豊かで持続可能な産業があるまち

ガーデンツーリズムに「みよし野ガーデン里山探訪」が**埼玉県で初認定**
（全国でも15番目）

ガーデンツーリズム制度とは…

国土交通省が創設した制度であり、各地の日本庭園や花の公園などの庭園文化に観光資源として着目し、**複数の庭園を共通のテーマ**で結びつけて登録。

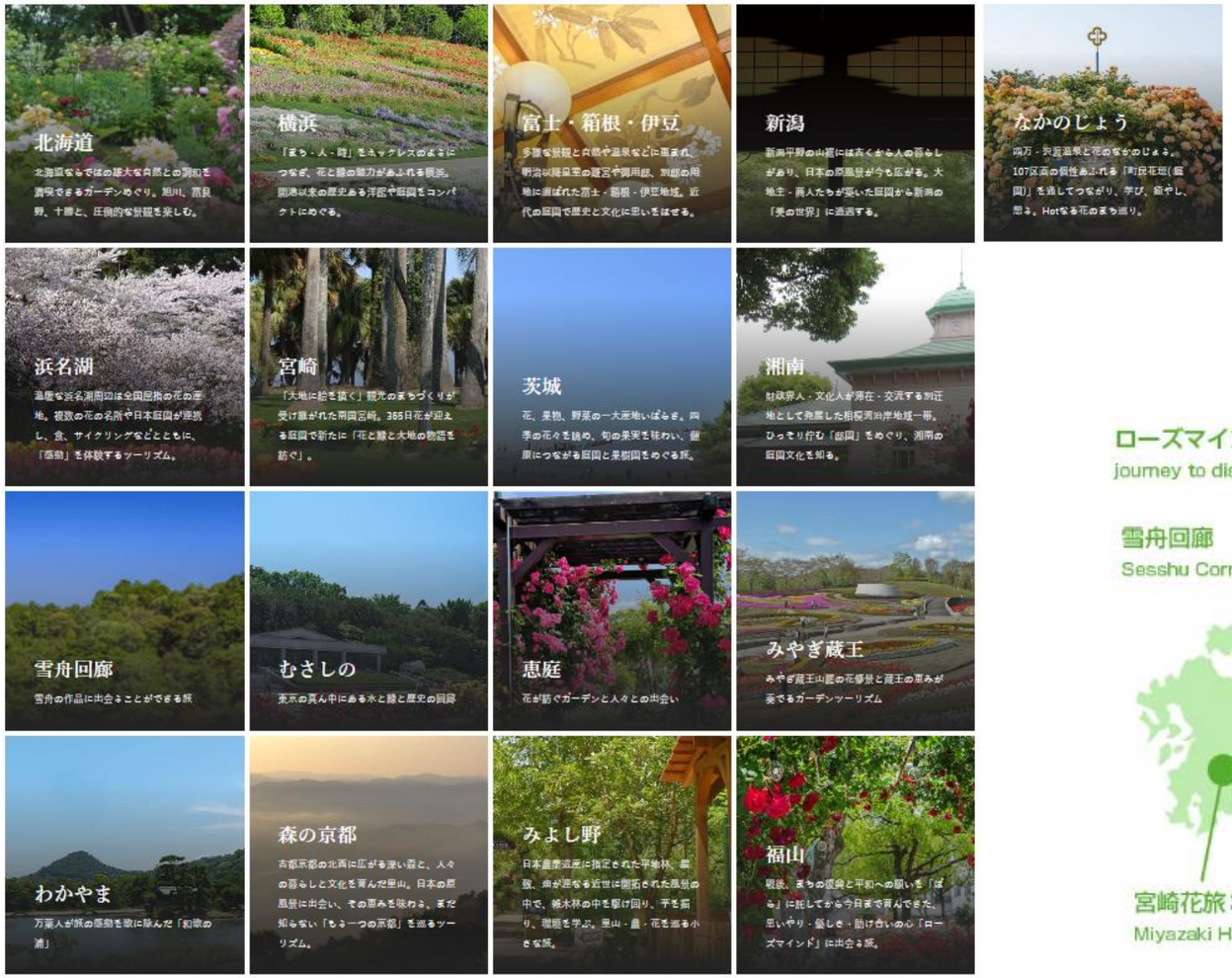


令和5年6月10日の認定書交付式の様子

世界農業遺産を活用したガーデンツーリズム

豊かで持続可能な産業があるまち

R6年3月までに17計画が登録されています。



世界農業遺産を活用したガーデンツーリズム

豊かで持続可能な産業があるまち

オープンフォレスト
～里山を歩く～

三富今昔村 くぬぎの森

農業遺産を巡る
散歩道
（平地林コース）

令和の森公園

こぶしの里

オープンファーム
～受け継がれる農を体験する～

芋ほり体験

菜の花畑

そばの花畑
（みよし花街道）

枝豆狩り

オープンガーデン
～花を愛でる～

多聞院

多福寺

月の原ガーデン

世界農業遺産を活用したガーデンツーリズム

豊かで持続可能な産業があるまち

今年度のツアー予定

計画中

- 秋の日帰りバスツアー

募集終了

- 春の日帰りバスツアー
- 夏の日帰りバスツアー

日帰りバスツアーの様子

分野別ビジョン

⑥緑と文化のなかでこころ豊かに暮らせるまち

武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産認定

緑と文化のなかでこころ豊かに暮らせるまち

令和5年7月5日(水)に国連食糧農業機関(FAO)により、
「武蔵野の落ち葉堆肥農法」が世界農業遺産に認定されました。

武蔵野の落ち葉堆肥農法とは？？

① 平地林で落葉した落ち葉を集め堆肥にする

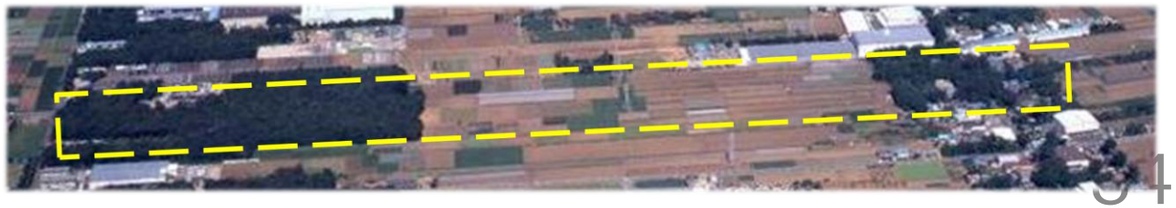
② その堆肥を畑に撒く

③ 豊かな土壌を形成する

④ 良質な作物が収穫できる

埼玉県武蔵野地域の概要

江戸時代の人口増加に伴い、屋敷地・畑地・平地林を含む細長い短冊形の地割によって開拓されました。平地林の落ち葉を使った伝統的な「落ち葉堆肥農法」により、栄養分が少ない土地を肥沃な畑地に変え、今日まで受け継がれています。



武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産認定

緑と文化のなかでこころ豊かに暮らせるまち

世界農業遺産
Globally Important Agricultural Heritage Systems

国際連合の食糧農業機関（FAO）が立ち上げたプロジェクト。
その土地の環境を生かした伝統的な農業・農法、農村文化・農村景観などを「地域システム」として一体的に維持保全し、次世代へ継承していくことが目的。

出典：農水省HP

武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産認定

認定されると？

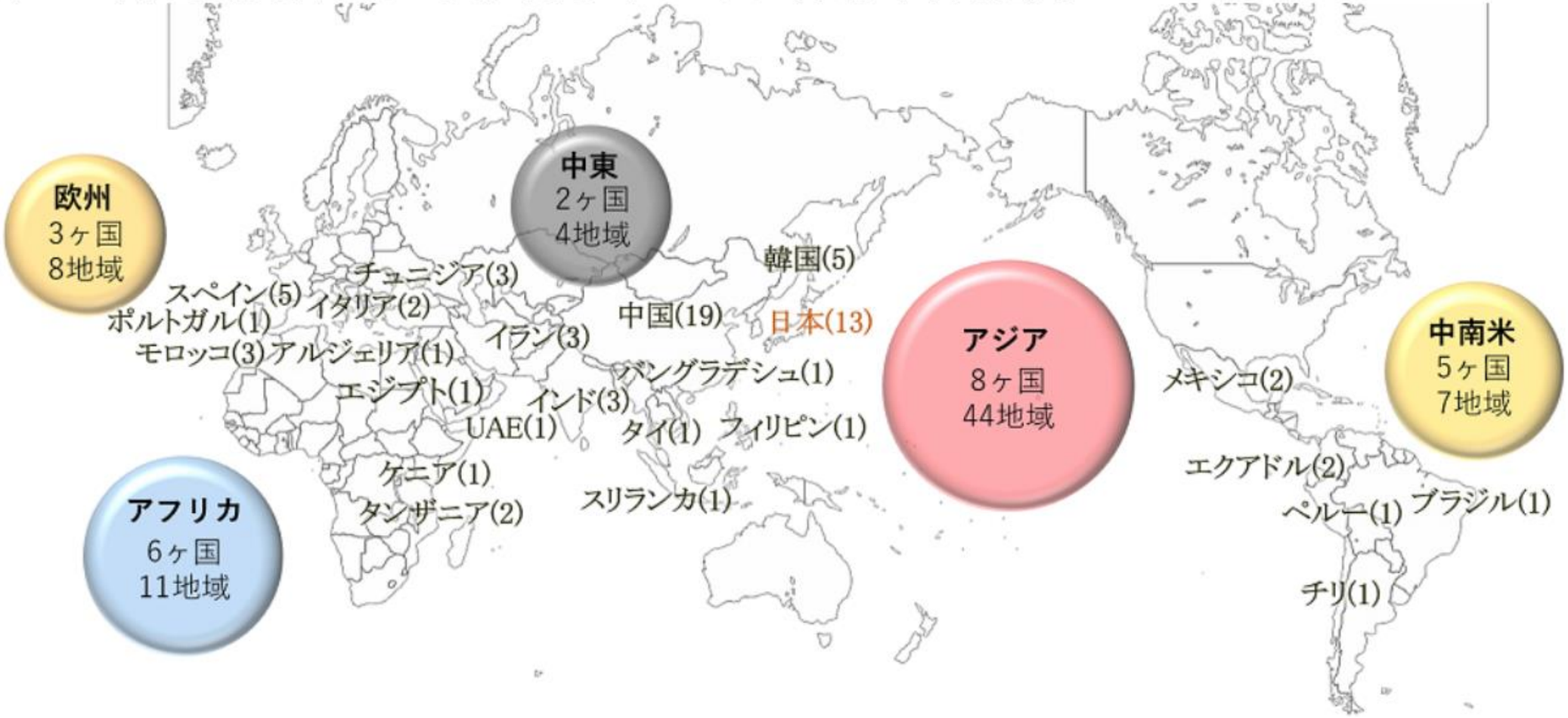
- 農作物や地域の魅力ＵＰ
- 世界からの観光客増加
- 都市農村交流
- 環境教育

武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産認定

緑と文化のなかでこころ豊かに暮らせるまち

世界農業遺産の認定地域

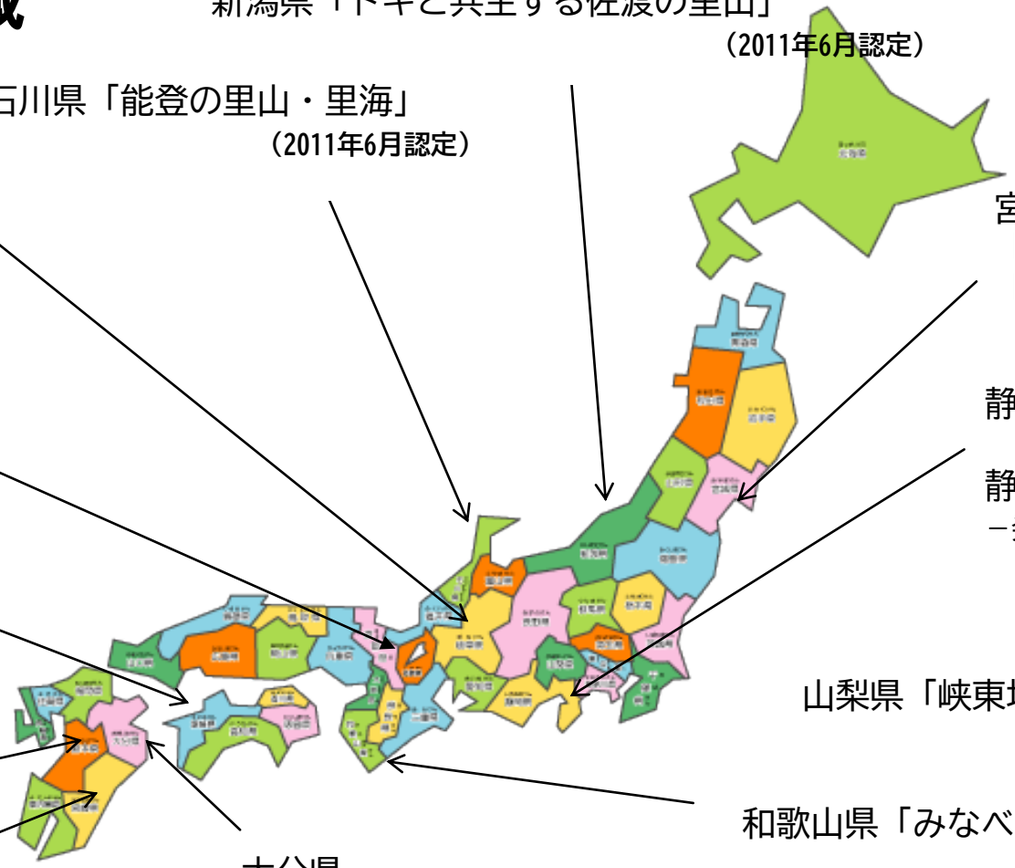
世界で24ヶ国74地域、日本では13地域が認定されています（令和5年2月現在）。



武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産認定

緑と文化のなかでこころ豊かに暮らせるまち

国内での認定は13地域



新潟県「トキと共生する佐渡の里山」
（2011年6月認定）

石川県「能登の里山・里海」
（2011年6月認定）

岐阜県
「清流長良川の鮎～里川における人と鮎のつながり」（2015年12月認定）

滋賀県
「森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」
（2022年7月認定）

徳島県「にし阿波の傾斜地農耕システム」
（2018年3月認定）

熊本県
「阿蘇の草原の維持と持続的農業」
（2013年5月認定）

宮崎県
「高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム」
（2015年12月認定）

大分県
「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」
（2013年5月認定）

和歌山県「みなべ・田辺の梅システム」
（2015年12月認定）

山梨県「峡東地域の扇状地に適応した果樹農園システム」
（2022年7月認定）

静岡県「静岡の茶草場」
（2013年5月認定）

静岡県「静岡水わさびの伝統栽培
－発祥の地が伝える人とわさびの歴史－」
（2018年3月認定）

宮城県
「持続可能な水田農業を支える「大崎耕土」の伝統的水管理システム」
（2017年12月認定）

武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産認定

緑と文化のなかでこころ豊かに暮らせるまち

海外・国・県、他自治体、大学、高校、農業団体等が世界農業遺産の視察に当町を訪問

野中農林水産副大臣視察

女性都道府県議会議員の会視察

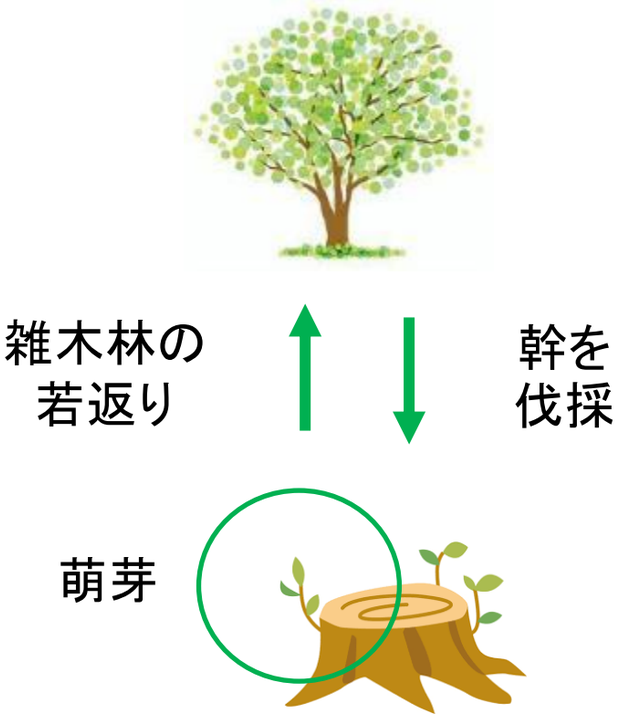
SAG（世界農業遺産科学助言グループ）委員
・世界農業遺産等専門家会議委員長視察

GIAHSコーディネーター視察

平地林の整備

平地林を次代へ継承するため、萌芽更新等により
平地林の維持・整備を推進します。

萌芽更新とは…
年を経た樹木を伐採し、萌芽を育て、
雑木林の若返りを図る里山の管理手法



芸術文化のまちづくり

緑と文化のなかでこころ豊かに暮らせるまち

町がアートに染まる「みよし芸術祭」

伝統芸能からコンサートやワークショップまで、
毎週末イベントが盛りだくさん。

ザ・シンフォニエッタみよし

名門楽団の首席奏者や
第一線で活躍するソリスト、
国際コンクール優勝者ら
夢のオールスターによる
極上の音楽の提供

さくらまつり

知る人ぞ知る三芳町の桜の
名所で、桜を見ながら食事
やお酒を楽しみます

安心安全な水の提供

ナチュラルミネラルウォーター

みらいくんの雫

落ち葉堆肥で生まれた大地に浸透し、生まれた地下水

世界農業遺産の認定記念

硬度「中程度」とクセもなく、
適度にミネラルが含まれた
まろやかな水

※某メーカーが販売する静岡県や岐阜県の美味しい天然水に成分が匹敵

取水地：上富第２取水井

そ　の　他

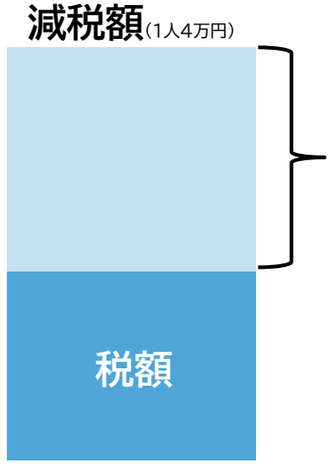
定額減税・調整給付

定額減税 1人あたり所得税3万＋住民税1万＝4万円※

※年収2000万円超は対象外

	本人	扶養家族	減税額
単身世帯	4万円		4万円
2人以上の一般世帯	4万円	＋ 扶養家族が2人の場合 4万×2人＝8万円	＝ 12万円

減税しきれない分の給付金
（調整給付）



1万円単位で
切り上げて給付。

（例）
本人税額　55,000円
減税額　　80,000円
→差額25,000円
→切り上げ30,000円

調整給付の対象の方には
8月頃を目安にお知らせします。

みなさまの

ご意見
お待ちしています

町長　林伊佐雄